

OLYMPUS

ボイストレック

V-863

V-862

取扱説明書

準備

1

録音について

2

再生について

3

メニューについて

4

パソコンでの活用について

5

資料

6

ご購入いただきありがとうございます。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を正しく安全にお使いください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

-
- 失敗のない録音をするために試し録りをしてください。
 - ご使用前に必ず「安全に正しくお使いいただくために」(P.130 ~ P.133)をお読みください。
 - ファームアップにより機能の追加・変更があった場合は、内容が異なります。最新情報は当社ホームページをご確認ください。

JP

IC レコーダーを活用しよう!

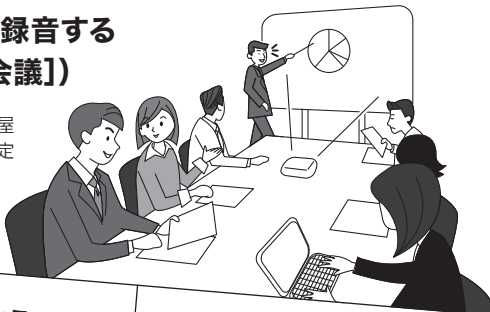
お買い上げいただきありがとうございます。

本機は若者からシニアまで幅広い年齢層にお使いいただける IC レコーダーです。
趣味や学習、ビジネスなど、さまざまなシーンでご活用ください。

状況に応じた録音設定があらかじめ登録されています。簡単な操作で最適な設定に切り替わります。あとは録音をスタートするだけです (P.40)。

会議や講義を録音する (録音シーン: [会議])

大人数が出席する広い部屋での会議に適した録音設定になります。



メモがわりに使う (録音シーン: [口述])

伝言やスケジュールの変更などをメモとして録音します。片手ですぐに録音できるので手帳に記入するより簡単です。



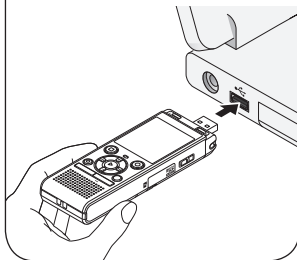
商談のやりとりを残す (録音シーン: [商談])

少人数の小スペースでの商談に適した録音設定になります。



パソコンに ダイレクト接続

大容量 USB メモリとして使用可能。パソコン間における画像データなどの受け渡しに使用できます (P.120)。



自分のペースで スピード調整

長時間に渡る会議の内容確認には早聞き再生が、速く聞き取りにくい外国語の発音は遅聞き再生が役立ちます (P.50)。

2.0 倍速

一定の音程で再生

標準再生

一定の音程で再生

0.5 倍速

一定の音程で再生



- デジタルだからファイルもすぐに見つかる。
▶▶|◀◀ ボタンで押すたびに各ファイルの先頭位置へスキップします。
- 重ね録りはしません。
次々と録音しても過去のファイルが上書きされて消えることはありません。

本書の表記について

ご注意

本機をご使用になる際の注意事項や絶対に避けていただきたい操作などが書かれています。

ご確認

本機を操作するときに確認していただきたいことが書かれています。

ヒント

知っておくと便利なことや役立つ情報などが書かれています。



本書での参照先のページを表します。

V-863 と V-862 の 主な違い

	V-863	V-862
本体内充電機能*	○	×
内蔵メモリ容量	8 GB	4 GB

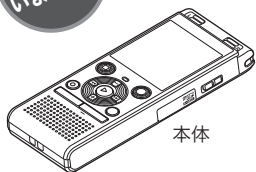
*V-863 のみ：

- お買い上げ時の電池は十分に充電されていません。録音の前には必ず充電してください (P.23)。

スタートガイド

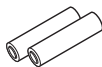
そろって
いますか？

箱の中身を確認しましょう



本体

取扱説明書（保証書付）



単4形ニッケル水素充電電池
(BR404) (2本) *1

単4形アルカリ乾電池
(2本) *2



ソフトケース *1
(CS131)

*1 V-863のみ
*2 V-862のみ

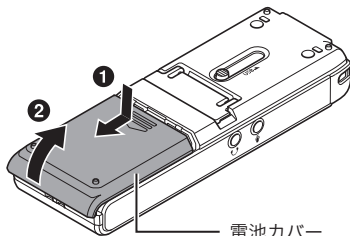
万一、同梱品が不足していたり、破損していた場合には、お買い上げ販売店までご連絡ください。

準備

1

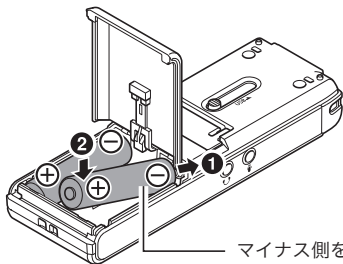
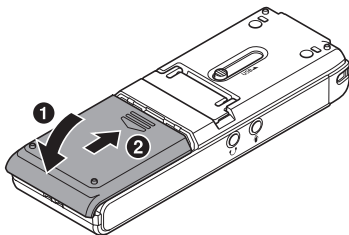
電池を入れましょう

- 1 電池カバーを上から押しながらスライドさせて開ける



準備

1

2 電池の ⊕ と ⊖ を正しい向きで入れる**3** 電池カバーを完全に閉める

シリアル番号について

シリアル番号は本機の電池室内に記載されているほか、**[システム情報]** (P.112) からも確認できます。巻末の保証書に書き写してください。

ご注意

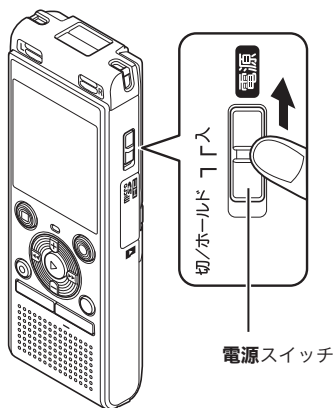
- 電池カバーロックがカチッと音がするまでしっかりと閉めてください。

準備

2

電源を入れましょう

- 1 電源スイッチを矢印の方向へスライドさせる



電源を切るには

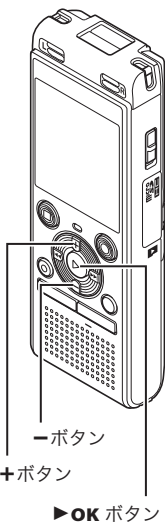
録音中または再生中以外のときに電源スイッチを「切/ホールド」の位置へスライドさせてください。

準備

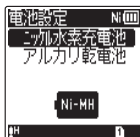
3

電池の種類を設定しましょう

V-863のみ



- 1 +または-ボタンを押して電池の種類を選ぶ



【ニッケル水素充電電池】：
(Ni)

付属のオリンパス製
ニッケル水素充電電池
(BR404)を入れた場合。



【アルカリ乾電池】：
(Al)

市販のアルカリ乾電池
を入れた場合。

- 2 ▶OKボタンを押して設定を確定する

ヒント

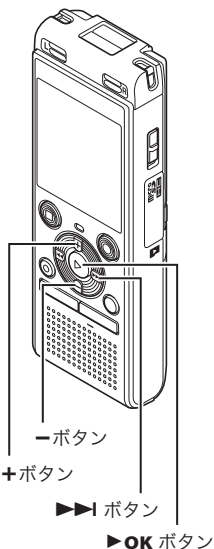
- メニュー操作でも同様に電池の切り替えができます (P.104)。

準備

4

日時を合わせましょう

日付と時刻を設定しておく、「いつ録音した」という情報がファイルごとに自動で記録されます。あらかじめ日付・時刻を合わせてください。



- 1** +または−ボタンを押して [時] を選ぶ



この画面が表示されない場合は「日付・時刻を合わせる [時計設定]」をご覧ください (※P.105)。

- 2** ▶▶▶ ボタンを押して次へ進む



- 3** +または−ボタンを押して [分] を選ぶ



準備
4

- 4 ▶▶ ボタンを押して次へ進む



- ・ ◀◀ ボタンを押すと1つ前の項目に戻ります。

- 5 + または - ボタンを押して [年] を選ぶ

- 6 ▶▶ ボタンを押して次へ進む



- 7 + または - ボタンを押して [月] を選ぶ



- 8 ▶▶ ボタンを押して次へ進む



- 9 + または - ボタンを押して [日] を選ぶ



- 10 ▶ OK ボタンを押すと時計が動き始めます

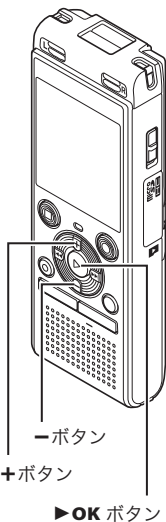
準備

5

文字の大きさを設定しましょう

表示文字の大きさを設定します。

【モード選択】画面はご購入後に一度設定すると、電池の入れ替えを行っても再表示されません。

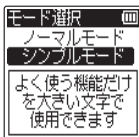


1 +または-ボタンを押して文字の大きさを選ぶ



【ノーマルモード】:

現在の設定やファイルの詳細情報を表示します。すべての機能が使用できる通常モードです。



【シンプルモード】:

必要な情報だけを表示し、文字が大きく見やすくなります。よく使う機能をまとめたモードです。

2 ▶OK ボタンを押して設定を確認する

- ・【ホーム】画面になります。

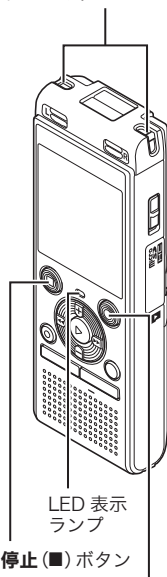
ヒント

- ・メニュー操作でも同様にモードの切り替えができます (P.107)。
- ・シンプルモードで使用できる機能はメニュー一覧をご覧ください (P.66)。

Step
1

録音してみましょう

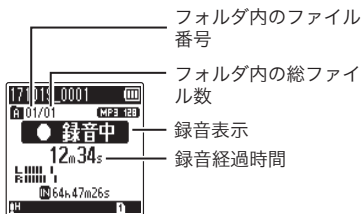
内蔵ステレオマイク
(録音したい方向へ
向けます)



停止 (■) ボタン

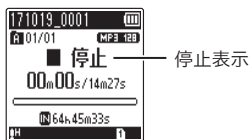
録音 (●) ボタン

1 録音 (●) ボタンを押して録音を開始する



- ・ LED 表示ランプが点灯し、ディスプレ
イに [● 録音中] が点灯します。

2 停止 (■) ボタンを押して録音を停止する

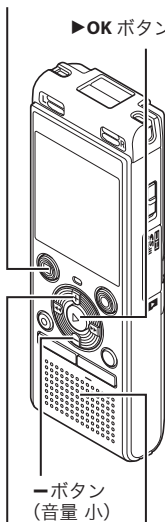


- ・ [ホーム] 画面で録音すると [A フォルダ]
にファイルが保存されます。
- ・ 録音したファイルの保存先は、録音する
前に指定できます (※ P.35)。

Step
2録音したファイルを
聞いてみましょう

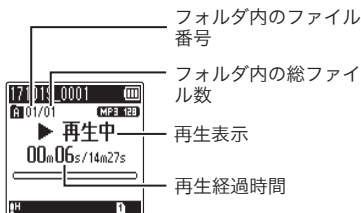
停止 (■) ボタン

▶OK ボタン

-ボタン
(音量小)+ボタン
(音量大)

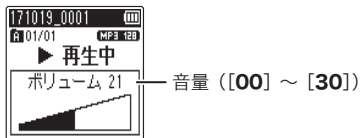
内蔵スピーカ

1 ▶OK ボタンを押して再生を開始する



- ・ 内蔵スピーカから音が出ます。

2 +または-ボタンを押して聞きやすい音量にする



3 停止 (■) ボタンを押して再生を停止する

Step
3聞いたファイルを
消してみましょ

録音および再生を停止させてから行ってください。

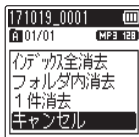
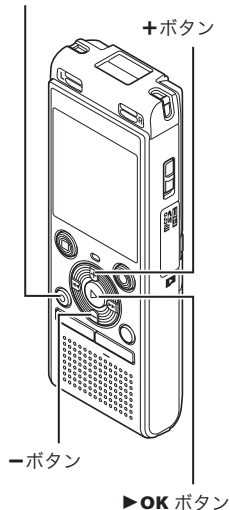
ご注意

- 消去したファイルは元に戻せません。消去の前には十分確認してください。
- 表示されているファイルが消去されます。

この番号のファイルが
消去されます。

消去ボタン

1 消去ボタンを押す



Step
3

- ② + または - ボタンを押して、**[フォルダ内消去]**
または **[1 件消去]** を選ぶ



[インデックス全消去] :

選択したファイルに付けたインデックスマークをすべて消去します。

[フォルダ内消去] :

選択したファイルが保存されているフォルダ内のファイルをすべて消去します。

[1 件消去] :

選択したファイルを消去します。

- ・ ◀◀ ボタンを押すと 1 つ前の画面に戻ります。
- ・ 操作中に 8 秒間何も操作しないと停止状態に戻ります。

- ③ ▶ **OK** ボタンを押す



- ④ + ボタンを押して **[開始]** を選ぶ



Step

3

5 ▶ OK ボタンを押す



2 ICレコーダーを活用しよう！

スタートガイド

- 4 電池を入れましょう
- 6 電源を入れましょう
- 7 電池の種類を設定しましょう
- 8 日時を合わせましょう
- 10 文字の大きさを設定しましょう
- 11 録音してみましょう
- 12 録音したファイルを聞いてみましょう
- 13 聞いたファイルを消してみましよう

1 準備

- 18 各部のなまえ
 - 18 レコーダー
 - 19 ディスプレイ
- 23 充電する
 - 23 パソコンのUSB端子に接続して充電する
- 25 電池について
- 27 microSDカードを入れる／取り出す
 - 27 microSDカードを入れる
 - 28 microSDカードを取り出す
- 29 誤操作を防止する【ホールド】
 - 29 ホールドにする
 - 29 ホールドを解除する
- 30 電源を切る
- 31 フォルダについて
 - 31 音声録音用フォルダ
 - 31 音楽再生用フォルダ

- 32 ポッドキャスト再生用フォルダ
- 33 フォルダとファイルの選びかた
- 34 カレンダー検索機能を使う

2 録音について

- 35 録音する
 - 35 基本的な録音のしかた
 - 38 録音を一時停止する／再開する
 - 38 録音内容をすばやく確認するには
 - 39 録音中の音声を聞くには
- 40 おまかせの録音設定を選ぶ【録音シーン】
- 42 外部マイクを使って録音する
- 43 他の機器と接続して録音する
 - 43 他の機器の音声を本機で録音する
 - 45 本機の音声を他の機器で録音する

3 再生について

- 46 再生する
 - 46 基本的な再生のしかた
 - 47 早送りをするには
 - 47 早戻しをするには
 - 48 ファイルの頭出しをするには
 - 49 イヤホンで聞くには
- 50 再生スピードを変更する
- 51 ABCリピート再生をする
- 54 インデックスマーク・テンプマークを付ける
- 55 消去する
 - 55 ファイル・インデックスを消去する
 - 56 フォルダを消去する

4 **メニューについて**

58 **メニュー設定のしかた**

58 基本的な操作のしかた

61 **メニューの一覧**

61 ノーマルモード

66 シンプルモード

67 **ファイルメニュー【ファイル設定】**

67 ファイルの誤消去を防止する【ファイルロック】

68 ファイルを並べ替える【並び替え】

70 ファイルを分割する【ファイル分割】

72 ファイルの音量レベルを全体的に上げる【ノーマライズ】

74 ファイルの情報を見る【プロパティ】

76 **録音メニュー【録音設定】**

76 録音感度を選択する【録音レベル】

78 録音モードを設定する【録音モード】

80 ノイズを軽減して録音する

【ローカットフィルタ】

81 音声起動録音機能を使う【VCVA】

83 音声同期録音機能を使う【音声同期録音】

85 音開始位置にインデックスマークを付ける【オートインデックス】

87 **再生メニュー【再生設定】**

87 ノイズを軽減して再生する

【ノイズキャンセル】

89 音ありと音なしを交互に繰り返して再生する【シャドーイング】

91 小さい音を補正して再生する

【ボイスバランス】

93 再生モードを選択する【再生モード】

96 スキップ間隔を設定する【スキップ間隔】

99 **表示/音メニュー【表示/音設定】**

99 コントラストを調整する【コントラスト】

100 LED表示ランプを設定する【LED】

101 操作音を設定する【操作音】

102 表示言語を切り替える【言語選択 (Lang)】

103 **本体メニュー【本体設定】**

103 記録メディアを選択する【メモリ選択】

104 使用する電池を設定する【電池設定】

105 日付・時刻を合わせる【時計設定】

107 モードを選択する【モード選択】

108 設定をリセットする【設定リセット】

109 記録メディアを初期化する【初期化】

111 記録メディアの情報を確認する【メモリ情報】

112 本機の情報を確認する【システム情報】

5 **パソコンでの活用について**

113 **パソコンの動作環境**

115 **パソコンに接続する/取り外す**

115 パソコンに接続する

116 パソコンから取り外す

117 **ファイルを転送する**

120 **パソコンの外部メモリとして使う**

6 **資料**

121 **活用のヒント**

123 **警告表示一覧**

125 **故障かな?と思ったら**

128 **その他**

128 お手入れ

128 アクセサリー (別売)

129 **商標について**

130 **安全に正しくお使いいただくために**

134 **主な仕様**

137 **索引**

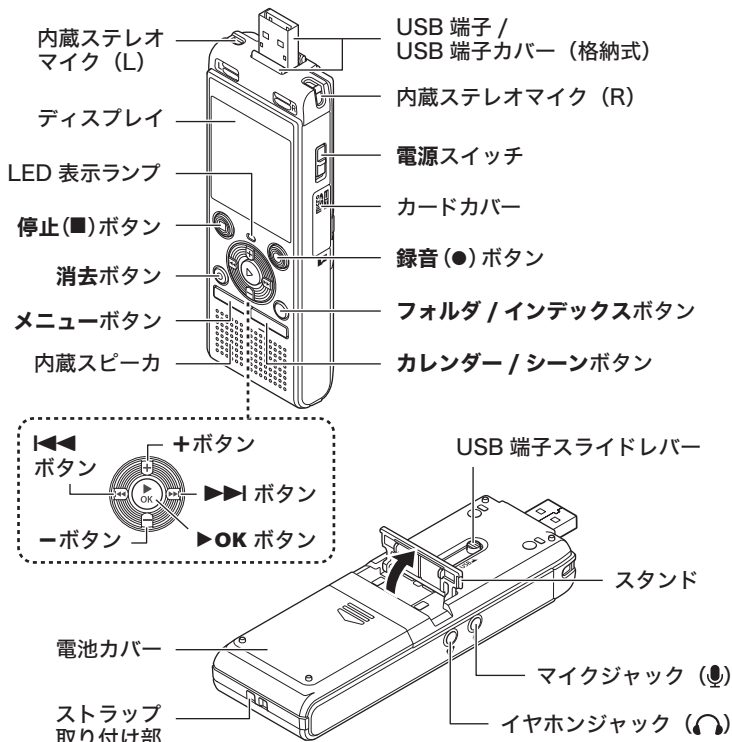
準備

各部のなまえ

1

各部のなまえ

レコーダー



・ストラップは同梱していません。

ディスプレイ

■ [ホーム] 画面:

本機の電源を入れると、[ホーム] 画面が表示されます。[ホーム] 画面は各モードの入り口になります。



① [レコーダー] モード

本機で録音した音声は、[レコーダー] フォルダ内の [フォルダ A] ~ [フォルダ E] に保存されます。

② [ミュージック] モード

Windows Media Player や iTunes を使って取り込んだ音楽ファイルを本機に転送して再生できます。

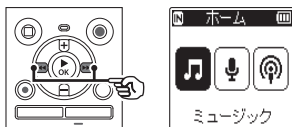
③ [ポッドキャスト] モード

Olympus Sonority (別売) を使って本機に転送した番組 (ファイル) を視聴できます。

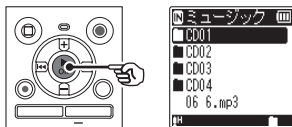
④ 現在選ばれているモード

各モードの選びかた

1 [ホーム] 画面で ►► または ◀◀ ボタンを押してモードを選ぶ



2 ►OK ボタンを押す



- ファイルの選びかたは「フォルダとファイルの選びかた」(P.33)をご覧ください。

ディスプレイ

1

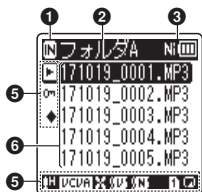
各部のなまえ

■ [レコーダー] モード:

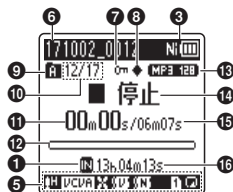
フォルダリスト表示



ファイルリスト表示



ファイル表示



- ① 記録メディア表示
 [N] : 内蔵メモリ
 [M] : microSD カード
- ② 現在のフォルダ名
- ③ 電池表示
 [] : 電池残量
 [N] : ニッケル水素充電電池 *
 [A] : アルカリ乾電池 *
- ④ フォルダ名
- ⑤ アイコン表示部 (※ P.22)
- ⑥ ファイル名
- ⑦ ファイルロック
- ⑧ 未再生ファイル
- ⑨ フォルダ表示
- ⑩ フォルダ内のファイル番号 / フォルダ内の総ファイル数

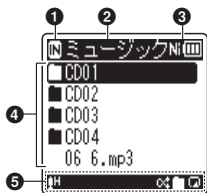
- ⑪ 録音経過時間 (録音時)、再生経過時間 (再生時)
- ⑫ 再生位置バー表示
- ⑬ 録音モード表示
- ⑭ 本機の動作状態
 [] : 録音表示
 [] : 録音一時停止表示
 [] : 停止表示
 [] : 再生表示
 [] : 早聞き再生表示
 [] : 遅聞き再生表示
 [] : 早送り表示
 [] : 早戻し表示
- ⑮ ファイルの長さ
- ⑯ 録音可能な残り時間

* V-863 のみ

ディスプレイ

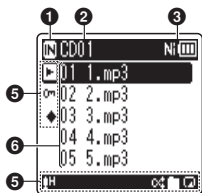
■ 【ミュージック】 【ポッドキャスト】 モード：

リスト表示 ①



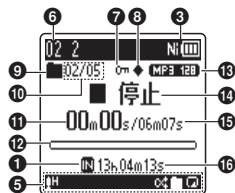
フォルダ内にフォルダと
ファイルがある場合

リスト表示 ②



フォルダ内にファイルのみ
がある場合

ファイル表示



① 記録メディア表示

[IN]：内蔵メモリ

[P]：microSD カード

② 現在のフォルダ名

③ 電池表示

[]：電池残量

[Ni]：ニッケル水素充電電池 *

[Al]：アルカリ乾電池 *

④ フォルダ名、ファイル名

⑤ アイコン表示部 (P.22)

⑥ ファイル名

⑦ ファイルロック

⑧ 未再生ファイル

⑨ フォルダ表示

⑩ フォルダ内のファイル番号/
フォルダ内の総ファイル数

⑪ 再生経過時間

⑫ 再生位置バー表示

⑬ 録音モード表示

⑭ 本機の動作状態

[■]：停止表示

[▶]：再生表示

[▶▶]：早聞き再生表示

[▶▶▶]：遅聞き再生表示

[▶▶▶▶]：早送り表示

[◀◀]：早戻し表示

⑮ 曲、コンテンツの長さ

⑯ 録音可能な残り時間

* V-863 のみ

ディスプレイ

アイコン表示部 (全モード共通)

録音シーン：

[M00000]：口述

[M00005]：商談

[M00010]：会議

[M00015]：ダビング (カセット)

[M00020]：ダビング (CD)

[M00025]：ダビング (タイマー)

[M00030]：電話録音

[L1] [L2] [L3]：録音レベル

[VCVA]：VCVA

[Sync]：音声同期録音

[PAUTO]：オートインデックス

[X]：ローカットフィルタ

[V]：ボイスバランサー

[N]：ノイズキャンセル

再生モード：

[]：フォルダ

[ALL]：全ファイル

[1]：ファイル

[]：リピート

[]：ランダム

[]：再生表示

[]：ファイルロック

[]：未再生ファイル

1

各部のなまえ

ヒント

- 停止中に**停止** (■) ボタンを押し続けると **現在日時** や **メモリ残量** (録音可能な残り時間) を確認できます。現在日時が合っていない場合、「**日付・時刻を合わせる** **時計設定**」(P.105) をご覧ください。




充電する

パソコンの USB 端子に接続して充電する

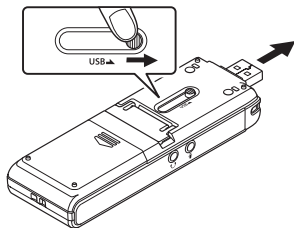
V-863 のみ

ご注意

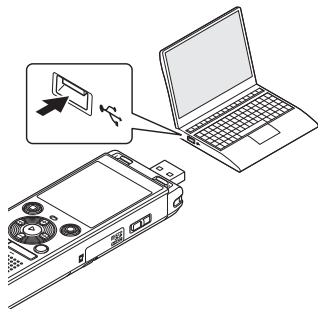
- 充電の際は付属の充電電池を入れ、[電池設定] の設定を [ニッケル水素充電電池] にしてください (P.4、P.104)。
- 電池表示 (P.25) が  に変わったら、電池残量が残りがずかです。充電するか、新しい電池に交換してください。

1 パソコンを起動する

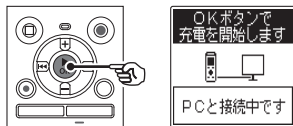
2 USB 端子スライドレバーを押しながら矢印の方向へスライドさせる



3 本機が停止しているのを確認し、パソコンの USB ポートに接続する



4 ▶OK ボタンを押して充電を開始する



- [電池設定] (P.104) の設定が [ニッケル水素充電電池] になっている場合は、[OK ボタンで充電を開始します] と表示されます。この表示が点滅中に ▶OK ボタンを押してください。
- 充電中は LED 表示ランプが点灯します。

パソコンの USB 端子に接続して充電する

1

充電する

5 電池表示が **[F]** になったら
充電は終了です



- 充電は約 3 時間で終了します。
詳しくは「**充電電池について (V-863 のみ)**」(※ P.25) をご覧ください。

ご注意



- アルカリ乾電池やリチウム乾電池などの一次電池を充電しないでください。液漏れ、発熱など本機の故障の原因となります。
- パソコンの電源が入っているときに USB 接続して充電をしてください。パソコンの電源が入っていないときやパソコンがスタンバイ、休止、オートパワーオフモードの場合は充電できません。
- パソコンと接続して充電するときには USB ハブを使用しないでください。
- **[C]** *1 または **[H]** *2 が表示されている場合は充電できません。周囲の温度が 5 ~ 35℃ の環境で充電してください。
 - *1 **[C]** : 周囲の温度が低い場合
 - *2 **[H]** : 周囲の温度が高い場合
- 電池を満充電しても寿命が著しく短くなってきたときは、新しい電池と交換してください。
- USB 端子は奥まで確実に差し込んでください。正しく接続されていないと正常に動作しません。
- 必要に応じて、別売の USB 延長ケーブル (KP19) をご使用ください。
- USB 延長ケーブルは必ず専用ケーブル (KP19) をご使用ください。他社製品をご使用の場合、動作の保証はできません。またこの専用ケーブルを他社製品に接続することも絶対におやめください。

電池について

電池表示について

電池の残量に応じてディスプレイの電池表示が次のように変わります。



- [] が表示されたら、電池残量が残りわずかです。充電するか、新しい電池に交換してください。電池残量がなくなると、[] と「**電池残量がありません**」が表示され、動作が停止します。

電池についてのご注意

- マンガン電池は本機で使用できません。
- 電池を交換する際は、必ず本機の電源を切ってから電池を交換してください。本機が録音、消去などの動作中に電池を抜くと、ファイルが破損する場合があります。
- 本機から電池を抜くと、電源を入れたとき自動的に「**時計設定**」画面が表示されます。詳しくは「**日付・時刻を合わせる[時計設定]**」(P.105)をご覧ください。
- 本機を長期間ご使用しない場合は、電池を取り外して保管してください。
- microSD カードご使用時は電池持続時間が短くなります (P.135)。
- ご使用の電池の性能により電池持続時間は変化します (P.135)。

充電電池について (V-863 のみ)

ニッケル水素充電電池 (BR404) をご使用の際には以下をよくお読みください。

■ 放電：

充電電池は、使用しないと自然に放電します。ご使用前には、必ず充電するようにしてください。

■ 操作温度：

充電電池は化学製品です。推奨温度範囲で使用する場合にも充電電池の性能は変化しますが、故障ではありません。

■ 推奨温度範囲：

本機動作時：0～42℃
充電：5～35℃
長期保管：-20～30℃



■ 充電時間：

約3時間
室温で電池残量がない状態から満充電する場合のめやすです。充電時間は電池の残量や充電の状態などにより変化します。

上記の温度範囲外での充電電池の使用は、性能・寿命の低下の原因となります。長期間本機をご使用にならない場合は、液漏れ・さびを防ぐために充電電池を取り外して保管してください。

ご使用済みの充電電池は「**充電式電池の廃棄について**」(P.133) にしたがって廃棄してください。

ご注意

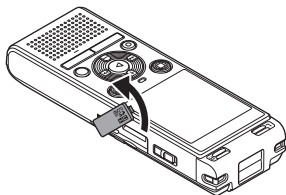
- ニッケル水素充電電池の性質上、新しく購入した電池や長期間（1カ月以上）使用していない電池は、充電が完全にされないことがあります。この場合は充放電を2、3回くり返してください。
- 充電電池をお買い求めの際は、必ずニッケル水素充電電池（BR404）をお選びください。他社製品をご使用の場合、動作の保証はできません。
- 繰り返し使用したニッケル水素充電電池は劣化により電池持続時間が短くなります（ P.135）。
- 電池を交換したときは自動的に「**電池設定**」画面が表示されます。メニュー操作でも同様に電池の設定ができます（ P.104）。

microSD カードを入れる／取り出す

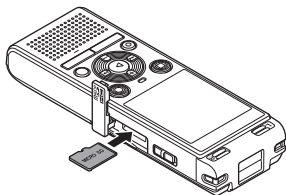
内蔵メモリのほかに市販の microSD カード（microSD、microSDHC）をご使用になれます。

microSD カードを入れる

1 停止中にカードカバーを開ける



2 図のように microSD カードの向きを正しく合わせて入れる

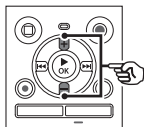


- microSD カードが斜めに入らないようにまっすぐに入れます。
- microSD カードの向きを間違えたり、斜めに入れると接触面が破壊されたり、microSD カードが抜けなくなる場合があります。
- カチッと音がする位置まで microSD カードが挿入されていないと、microSD カードに記録できない場合があります。

3 カードカバーを閉じる

- microSD カードを入れると、記録メディアの切り替え画面が表示されます。

4 microSD カードに記録する場合、+または-ボタンを押して【はい】を選ぶ



5 ▶OK ボタンを押して設定を完了する

ヒント

- 記録メディアを内蔵メモリに切り替えることもできます (P.103)。

ご注意

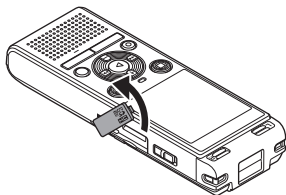
- パソコンなど他の機器でフォーマット（初期化）した microSD カードは、認識できない場合があります。お使いになる前に、必ず本機で初期化してください (P.109)。

microSD カードを取り出す

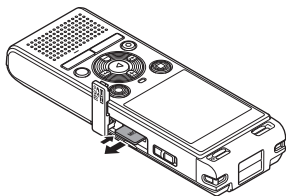
1

microSD カードを入れる／取り出す

1 停止中にカードカバーを開ける



2 microSD カードを一度奥に向かって押し込んで、そのままゆっくり戻す



- microSD カードが手前に出て止まります。microSD カードをつまんで取り出してください。
- [メモリ選択] の設定を [microSD カード] にしていた場合、[内蔵メモリに切り替えました] と表示されます。

3 カードカバーを閉じる

ご注意

- microSD カードを取り出す際に、microSD カードを押しした指をすぐにはなしたり、指ではじくようにして押し出すと、microSD カードが勢いよく飛び出すことがあります。
- microSD カード、microSDHC カードにおいて、本機との相性により製造メーカーやカードの種類によっては正しく認識しないことがあります。

- 当社基準における動作確認済の microSD カードについては、当社ホームページのサポートページをご覧ください。

ホームページでは、当社が動作確認を行った microSD カードの製造メーカーとカードの種類を紹介していますが、当社がお客様に対して microSD カードの動作保障をするものではありません。また、各製造メーカーの仕様変更などにより、正しく認識できなくなる場合があります。あらかじめご了承ください。

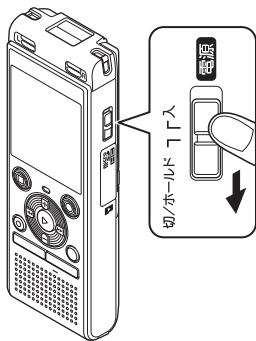
- ご利用の際は、microSD カードに付属の取扱説明書を必ずお読みください。
- microSD カードが認識されない場合、microSD カードを取り出してからもう一度入れ直し、本機で認識するか試してください。
- microSD カードの種類によっては処理速度が遅くなる場合があります。また、microSD カードは書き込みや消去を繰り返すことによって処理能力が落ちることがあります。この場合、microSD カードを初期化し直してください (P.109)。

誤操作を防止する [ホールド]

ホールドにすると動作中の状態を保ち、ボタン操作を受け付けません。かばんやポケットに入れたときに誤ってボタンが押されても動作しないので、持ち運びに便利です。また、録音中に誤って停止させてしまうことを防ぎます。

ホールドにする

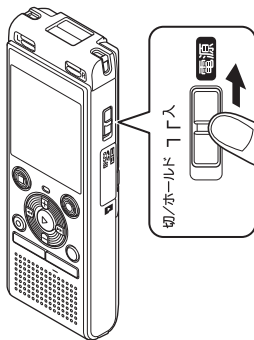
- 1 録音中または再生中に電源スイッチを [切/ホールド] の位置にスライドさせる



- ディスプレイに [ホールド] が表示され、ホールド状態になります。

ホールドを解除する

- 1 電源スイッチ [入] の位置にスライドさせる



ご注意

- ホールドの状態ですでにボタンのいずれかを押し、[ホールド] 表示が2秒間点灯しますが動作しません。
- 録音（または再生）中にホールドにすると、録音（再生）状態のまま操作ができなくなります（メモリ残量がなくなるなどで録音が終了したり、再生が終了すると電源が切れます）。

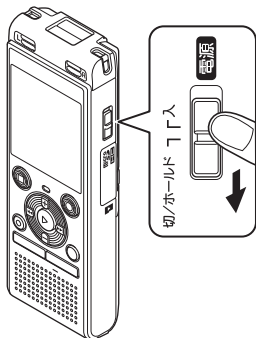
電源を切る

電源を切っても既存のデータやメニューの設定、時計設定などは保持されます。

1

電源を切る

- 1 停止中に電源スイッチを [切 / ホールド] の位置へスライドさせる



- 電源を切る前の再生停止位置が記録されます。

ヒント

- 使用していないときは、電源をこまめに切ると電池の消耗を最小限に抑えられます。

スリープモードについて

電源を入れて5分以上停止状態が続くと、ディスプレイ表示が消え、自動的にスリープ（省電力）モードに切り替わります。

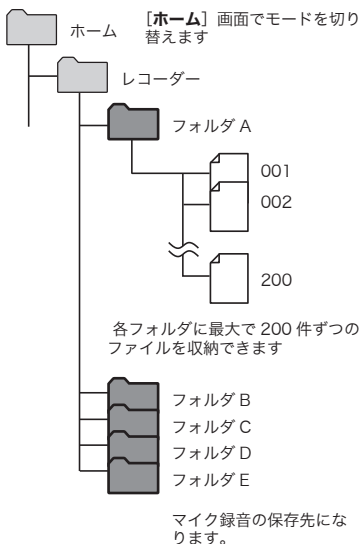
- スリープモードを解除するには、いずれかのボタンを押してください。

フォルダについて

データの記録メディアには、内蔵メモリまたは microSD カードを使用できます。記録メディアにかかわらず音声ファイル、音楽ファイル、コンテンツファイルは、ツリー構造で構成されたフォルダに振り分けられて保存されます。保存されているファイルはお好みの順番に並べ替えることができます (P.68)。

音声録音用フォルダ

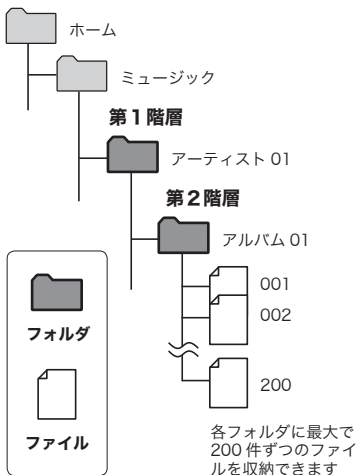
本機で録音した音声は、[レコーダー] フォルダ内の [フォルダ A] ~ [フォルダ E] に保存されます。



- [レコーダー] フォルダ直下に入れたファイルやフォルダは本機で表示されません。

音楽再生用フォルダ

Windows Media Player を使用して音楽ファイルを本機に転送すると、音楽再生用フォルダ内を下記の図のような階層構造で、フォルダを自動作成します。



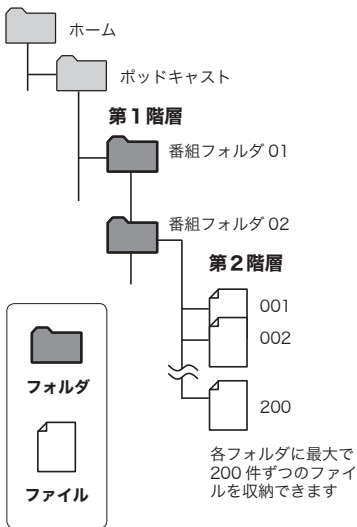
- [ミュージック] フォルダには、[ミュージック] を含めて最大 400 フォルダまで作成できます。

ポッドキャスト再生用フォルダ

1

フォルダについて

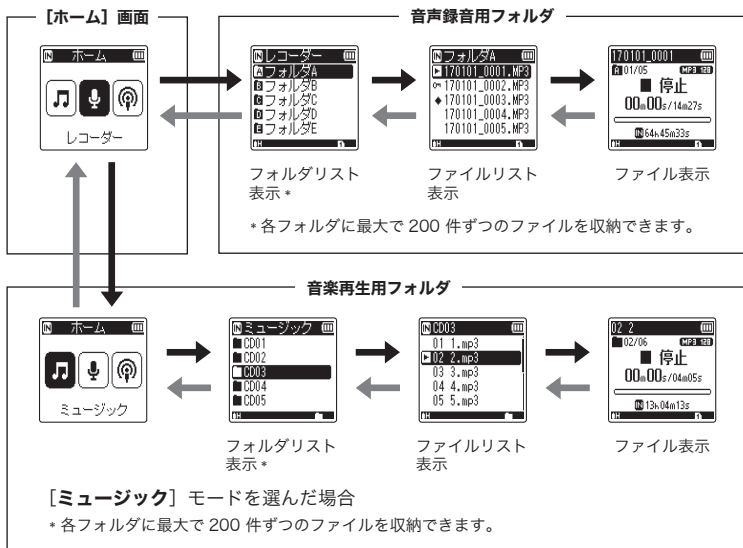
ポッドキャスト配信されたファイルを保存する【ポッドキャスト】フォルダがあらかじめ用意されています。Olympus Sonority から本機に転送した番組（ファイル）を視聴できます。



- ・【ポッドキャスト】フォルダには、【ポッドキャスト】を含めて最大400フォルダまで作成できます。

フォルダとファイルの選びかた

フォルダの切り替えは停止中に操作してください。フォルダの階層構造については「**フォルダについて**」をご覧ください (P.31)。



→ 進む ▶ OK ボタン

押すたびにリスト表示で選んだフォルダまたはファイルを開き1つ下の階層に進みます。リスト表示は、▶▶ ボタンでも操作できます。

← 戻る: フォルダ / インデックスボタン

押すたびに1つ上の階層に戻ります。リスト表示では、◀◀ ボタンでも操作できます。

+ または - ボタン

フォルダやファイルを選びます。

【ホーム】画面:

▶▶ または ◀◀ ボタンで本機モードが切り替わります。

リスト表示:

本機に記録されているフォルダとファイルのリストが表示されます。

ファイル表示:

選んだファイルの情報が表示されます。

カレンダー検索機能を使う

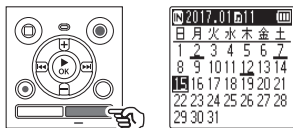
1

録音した日付から音声ファイルを検索できます。どのフォルダに録音したのかを忘れてしまった場合でも、日付が分かっているだけで探せます。

ご注意

- カレンダー検索するには、あらかじめメニュー機能の [時計設定] で日時を合わせてください (P.105)。
- 音声録音用フォルダ ([録音] ~ [録音]) に保存されているファイルのみカレンダー検索できます。

1 停止中にカレンダー / シーンボタンを押す



- ファイルが保存されている日付にはアンダーバーが表示されます。

▶▶、◀◀ ボタン：

前日 / 翌日へ移動します。押し続けると次の録音ファイルがある日付にスキップします。

+、- ボタン：

前週 / 翌週へ移動します。

- 停止 (■) ボタンを押すとカレンダー検索がキャンセルされ、元の画面に戻ります。

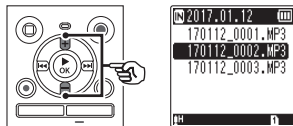
2 +、- または ▶▶、◀◀ ボタンを押して日付を選ぶ



- 選択した日に登録されているファイル数
- ファイルを録音した日付
- 選択した日付
- 現在の日付

3 ▶OK ボタンを押す

4 + または - ボタンを押してファイルを選ぶ



5 ▶OK ボタンを押すと再生します

録音について

録音する

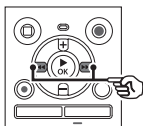
録音用に [A] ~ [E] の5つのフォルダを用意しています。ビジネス用やプライベート用など、録音する内容によって使い分けると便利です。

基本的な録音のしかた

2

録音する

- 1 [ホーム] 画面で ▶▶ または ◀◀ ボタンを押して [レコーダー] を選ぶ (P.19)

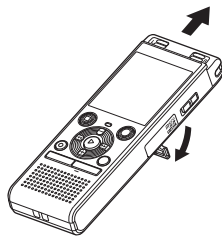
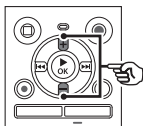


- 4 録音したい方向に内蔵マイクを向ける



- 2 ▶OK ボタンを押す

- 3 + または - ボタンを押して録音するフォルダを選ぶ



- 必要に応じて、スタンドを図のように起こしてご使用ください。

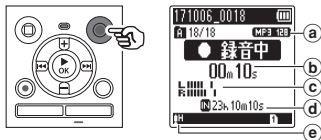
- 新しく録音した音声は、選んだフォルダに保存されます。

基本的な録音のしかた

2

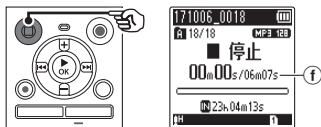
録音する

5 録音 (●) ボタンを押して録音を開始する



- a 録音モード
 - b 録音経過時間
 - c レベルメーター（録音音量や録音機能の設定に合わせて変化します）
 - d 録音可能な残り時間
 - e 録音レベル
- ・LED表示ランプが点灯し、ディスプレイに [● 録音中] が点灯します。

6 停止 (■) ボタンを押して録音を停止する



- f ファイルの長さ

本機で録音した音声には、自動的に以下のようなファイル名が付けられます。

171006_0018.MP3

① ② ③

- ① **録音した日付：**
録音した年月日になります。
- ② **ファイル番号：**
記録メディアの切り替えにかかわらず、ファイル番号は連続して付けられます。
- ③ **拡張子：**
MP3形式のファイルであることを示します。

基本的な録音のしかた

ヒント

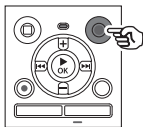
- [録音モード] は停止中に設定してください (P.78)。
- [ミュージック] モードや [ポッドキャスト] モード、カレンダー検索モードのときでも、録音 (●) ボタンを押すと録音を開始できます。その際、録音したファイルは[フォルダ A] に保存されます。

ご注意

- 録音の頭切れを防ぐために、LED 表示ランプの点灯やディスプレイの録音表示を確認してから録音を行ってください。
- 録音可能な残り時間が 60 秒になると LED 表示ランプが点滅を開始し、30 秒、10 秒と残量が減るにつれて点滅が早くなります。
- [ファイル件数がいっぱいです] と表示された場合、これ以上録音できません。フォルダを変更するか、不要なファイルを消去してから録音をしてください (P.55)。
- [メモリがいっぱいです] と表示された場合、容量がありません。不要なファイルを消去してから録音をしてください (P.55)。
- 本機に microSD カードを入れたときは、使用する記録メディアが [内蔵メモリ] なのか [microSD カード] なのかを間違えないように設定してください (P.103)。
- 記録メディアは書き込みや消去を繰り返すことによって処理能力が落ちることがあります。この場合は記録メディアを初期化してください (P.109)。

録音を一時停止する／再開する

1 録音中に録音 (●) ボタンを押す



- 録音が一時停止し、ディスプレイに【●||一時停止】が点滅します。
- 録音一時停止のまま 60 分以上過ぎると停止状態になります。

2 一時停止中に録音 (●) ボタンをもう一度押す

- 一時停止したところから録音が再開されます。

録音内容をすばやく確認するには

1 録音中に ▶OK ボタンを押す

- 録音が中断され、今録音したファイルが再生されます。

録音に関する設定

録音状況に合わせてさまざまな設定ができます。

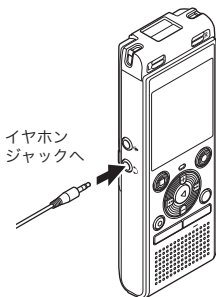
[録音レベル] (※ P.76)	録音レベルを設定します。
[録音モード] (※ P.78)	録音時の音質を設定できます。
[ローカットフィルタ] (※ P.80)	エアコンの空調音やプロジェクターなどの動作音を低減できます。
[VCVA] (※ P.81)	音声起動録音 (VCVA) の起動レベルを設定できます。
[音声同期録音] (※ P.83)	音声同期録音の起動レベルを設定できます。
[オートインテックス] (※ P.85)	無音が続いたあとの有音開始位置にインテックスマークを付けます。
[録音シーン] (※ P.40)	録音する場面や状況に合わせた録音設定に一括で切り替えます。

録音中の音声を聞くには

市販のイヤホンを通機のイヤホンジャック () に差し込むと、録音中の音声を聞くことができます。録音モニターの音量は+または-ボタンを使用して調節できます。

- イヤホンは別売になります。

1 本機のイヤホンジャック () にイヤホンを接続する



- 録音中に音量を変えても録音レベルは変化しません。

ご注意

- 耳への刺激を避けるため、音量を [00] にしてからイヤホンを入れてください。
- ハウリングをおこしますので、録音中はイヤホンをマイクに近づけないでください。
- 録音中にイヤホンを使用すると電池の消耗が早くなります。電池の消耗を抑えたいときは、イヤホンを接続しないでください。
- [録音レベル] (P.76) の設定が [オート] の場合、その効果は録音モニターの音声には反映されません。

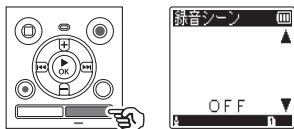
おまかせの録音設定を選ぶ【録音シーン】

本機には会議や口述など録音する状況に合わせた最適な設定があらかじめ登録されています。状況に応じたおすすめの設定に一括で切り替わります。

[口述]		自分の声など、ごく近い音声の録音に適しています。
[商談]		小スペースでの打ち合わせなど、やや近い音声を録音するときに適しています。
[会議]		広いスペースでの会議など、広範囲の音声を録音するときに適しています。
[ダビング (自動分割)]		カセットテープや CD からダビングするときに適しています。曲間の無音部分を検知して、自動的に 1 曲ずつファイルを分割して録音します。
[ダビング (タイマー)]		1 つのファイルに録音し続け、設定した時間になると録音を停止します。
[電話録音]		電話での会話を録音するときに適しています。

- 各録音シーンの設定内容については、「録音シーンに登録されている設定内容」(※ P.41) をご覧ください。

1 停止中にカレンダー / シーン ボタンを 1 秒以上押す



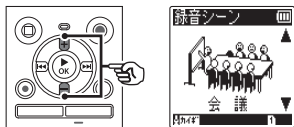
- [口述]、[商談]、[会議]、[ダビング (自動分割)] (※ P.43)、[ダビング (タイマー)] (※ P.43)、[電話録音] (※ P.42)、[OFF] から選べます。

3 ▶OK ボタンを押して設定を完了する

ヒント

- 録音シーンはメニューからも設定できます (※ P.58)。

2 + または - ボタンを押して録音シーンを選ぶ



おまかせの録音設定を選ぶ【録音シーン】

ご注意

- 録音メニューの機能 (P.76 ~ P.85) から各設定項目を選ぶとき、設定中の録音シーンは自動的に **[OFF]** になります。
- シンプルモード (P.107) では **[録音シーン]** の **[OFF]** が選択できません。

録音シーンに登録されている設定内容

	[録音レベル]	[録音モード]	[ローカット フィルタ]	[VCVA]	[音声同期録音]	[オートイン デックス]
[口述]	[低 (メモ)]	[MP3 128 kbps]	[ON]	[OFF]	[OFF]	[OFF]
[商談]	[高 (会議)]	[MP3 128 kbps]	[OFF]	[OFF]	[OFF]	[OFF]
[会議]	[オート]	[MP3 128 kbps]	[ON]	[OFF]	[OFF]	[OFF]
[ダビング (自動分割)]	[低 (メモ)]	[MP3 128 kbps]	[OFF]	[OFF]	[ON]	[OFF]
[ダビング (タイマー)]	[低 (メモ)]	[MP3 128 kbps]	[OFF]	[OFF]	[OFF]	[OFF]
[電話録音]	[低 (メモ)]	[MP3 128 kbps]	[ON]	[OFF]	[OFF]	[OFF]

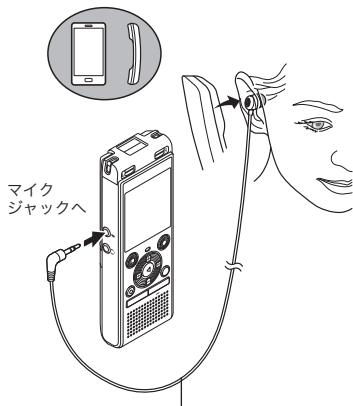
外部マイクを使って録音する

本機のマイクジャック (●) に外部マイクや他の機器を接続し、音声録音できます。録音中は本機のジャックに抜き差しをしないでください。

2

外部マイクを使って録音する

1 本機のマイクジャック (●) に外部マイクを接続する



例：テレホンピックアップ TP8 (別売)

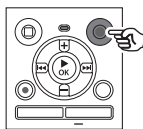
ヒント

- 電話用マイク (テレホンピックアップ TP8) を使用する際は、**【録音シーン】**を**【電話録音】**にしてください。固定電話や携帯電話での会話を明瞭に録音できます (P.40)。
- ご使用いただける外部マイクは「**アクセサリ (別売)**」 (P.128) をご覧ください。

ご注意


- プラグインパワー対応のマイクがご使用になれます。
- **【録音モード】**をステレオ形式に設定した場合、外部モノラルマイクを接続して録音するとLチャンネルのみに音声録音されます (P.78)。
- **【録音モード】**をモノラル形式に設定した場合、外部ステレオマイクを接続して録音するとLチャンネルマイクのみ録音となります (P.78)。

2 録音 (●) ボタンを押して録音を開始する



他の機器と接続して録音する

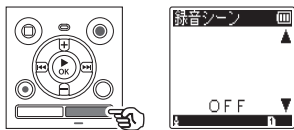
他の機器の音声を本機で録音する

他の機器の音声出力端子（イヤホンジャック）と本機のマイクジャック（）をダビング用コネクティングコード KA333（別売）でつなぐと、その音声を録音できます。

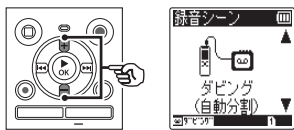
2

他の機器と接続して録音する

- 1 停止中にカレンダー / シーン ボタンを 1 秒以上押す



- 2 + または - ボタンを押して [ダビング (自動分割)] または [ダビング (タイマー)] を選ぶ

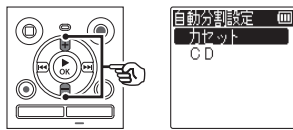


[ダビング (自動分割)] :
自動的に 1 曲ずつファイルが分割されて録音されます。

[ダビング (タイマー)] :
1 つのファイルに録音し続け、設定した時間になると録音を停止します。

- 3 ▶ OK ボタンを押す

- 4 + または - ボタンを押して設定を選ぶ



[ダビング (自動分割)] を選んだ場合:

[カセット] :

CD やレコードをカセットテープにダビングした雑音の多い音源を想定しています。

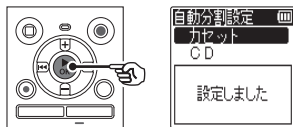
[CD] :

CD のような雑音の少ない音源のダビングを想定しています

[ダビング (タイマー)] を選んだ場合:

ダビングが停止するまでの時間を、**[OFF]** **[30 分]** **[60 分]** **[90 分]** **[120 分]** から選べます。

- 5 ▶ OK ボタンを押して設定を完了する



JP

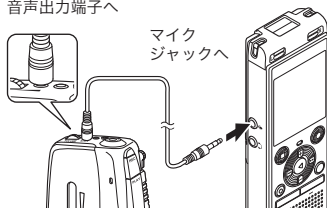
他の機器の音声を本機で録音する

2

他の機器と接続して録音する

6 本機と他の機器をコネクティングコード KA333 でつなぐ

他の機器の
音声出力端子へ



7 録音 (●) ボタンを押して
本機の録音を開始する

8 他の機器を再生する


9 ダビングが終了したら停止 (■)
ボタンを押して、本機の録音を
停止する

- ・ [ダビング (タイマー)] を選んだ場合、設定した時間になると自動的に録音が停止します。

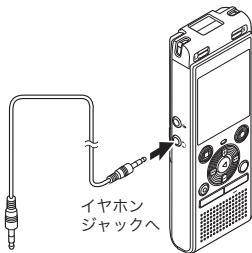
ご注意

- ・ 録音中は本機のジャックから抜き差しをしないでください。
- ・ 録音レベルの調整は再生機器側で行ってください。
- ・ 失敗のない録音をするために、試し録りをしてください。
- ・ [ダビング (自動分割)] は、入力音量の大きさや無音部分の雑音の度合いで判断しています。入力音量が小さかったり無音部分の雑音が大きいと、正しく録音・分割されない場合があります。その場合は、[ダビング (タイマー)] を選択し、手動で録音・停止を行ってください。
- ・ [ダビング] を選択時、コネクティングコードが接続されていないと [音源をマイクジャックに接続してください] と表示されます。

本機の音声を他の機器で録音する


他の機器の音声入力端子（マイクジャック）と本機のイヤホンジャック（）をダビング用コネクティングコード KA333（別売）でつなぐと、本機の音声を他の機器へ録音できます。

1 本機と他の機器をコネクティングコード KA333 でつなぐ



他の機器の
音声入力端子へ

ご注意

- 本機で再生関連の各種音質設定を調整すると、イヤホンジャック（）から出力される音声出力信号も変化します（[P.87](#)、[P.91](#)）。

2 他の機器の録音を開始する

3 ▶OK ボタンを押して本機の再生を開始する

4 ダビングが終了したら停止（■）ボタンを押して、本機の再生を停止する

再生について

再生する

基本的な再生のしかた

本機で録音したファイルのほか、パソコンから転送した MP3 形式のファイルが再生できます。

3

再生する

- 再生するファイルが収録されているフォルダからファイルを選ぶ (P.33)

ヒント

- ファイルは以下の場所に保存されています。

本機で録音したファイル：

【レコーダー】フォルダ (📁) ~
📁 フォルダ)

パソコンから転送された音楽ファイル：

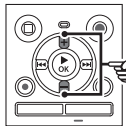
【ミュージック】フォルダ

パソコンから転送されたポッドキャストファイル：

【ポッドキャスト】フォルダ

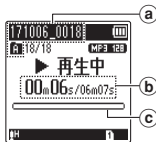
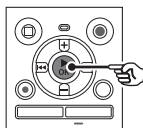
- ファイル名、フォルダ表示
- 再生経過時間/ファイルの長さ
- 再生位置バー表示

- + または - ボタンを押して聞きやすい音量にする



- 【00】～【30】の範囲で調節できます。数字が大きくなると音量が上がります。
- イヤホン使用時に音量を規定以上にすると、警告画面が表示される場合があります。

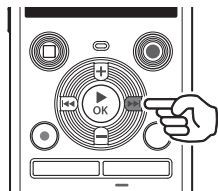
- ▶ OK ボタンを押して再生を開始する



- (停止) ボタンを押して再生を停止する

- 再生しているファイルの途中で停止します。レジューム機能が働き、電源を切っても停止位置を記憶します。次に電源を入れたときに記憶した停止位置から再生できます。

早送りをするには



停止中の早送り

1 停止中に ►►► ボタンを押し続ける

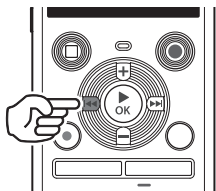
- ►►► ボタンから手を離すと停止します。►OK ボタンを押すと、その位置から再生します。

再生中の早送り

1 再生中に ►►► ボタンを押し続ける

- ►►► ボタンから手を離すと、その位置から再生します。
- ファイルの途中でインデックスマークやテンプマークがついているときは、その位置でいったん停止します (P.54)。
- ファイルの終わりまで進むといったん停止します。さらに ►►► ボタンを押し続けると、次のファイルの先頭から早送りを続けます。

早戻しをするには



停止中の早戻し

1 停止中に ◀◀◀ ボタンを押し続ける

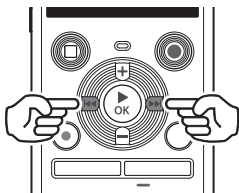
- ◀◀◀ ボタンから手を離すと停止します。►OK ボタンを押すと、その位置から再生します。

再生中の早戻し

1 再生中に ◀◀◀ ボタンを押し続ける

- ◀◀◀ ボタンから手を離すと、その位置から再生します。
- ファイルの途中でインデックスマークやテンプマークがついているときは、その位置でいったん停止します (P.54)。
- ファイルの先頭まで戻るといったん停止します。さらに ◀◀◀ ボタンを押し続けると、前のファイルの終わりから早戻しを続けます。

ファイルの頭出しをするには



次のファイルの頭出し

- 1 停止中または再生中に **▶▶▶** ボタンを押す

現在のファイルの頭出し

- 1 停止中または再生中に **◀◀◀** ボタンを押す

1つ前のファイルの頭出し

- 1 ファイルの先頭位置で **◀◀◀** ボタンを押す
 - 再生中に1つ前のファイルにスキップするときは、2回連続して **◀◀◀** ボタンを押してください。

ご注意

- 再生中のファイルを頭出しする場合、途中にインデックスマーク・テンプマークがあると、その位置から再生を開始します。停止中はマークを飛ばして頭出しを行います (P.54)。
- **[スキップ間隔]** が **[ファイルスキップ]** 以外に設定されている場合、再生中は設定時間分だけスキップまたは逆スキップして再生を開始します。頭出しにはなりません (P.96)。

再生に関する設定

ファイルの再生方法は、目的やお好みに合わせてお選びください。

[ノイズキャンセル]* (P.87)	プロジェクターなどの動作音により音声聞き取りにくいときに設定してください。
[シャドーイング] (P.89)	音あり再生と音なし(または小音量、ゆっくり)再生を交互に繰り返します。
[ボイスバランサー]* (P.91)	低音域と高音域成分をカットし、音量が小さい部分を補正して再生します。
[再生モード] (P.93)	多彩な再生方法を選べます。
[スキップ間隔] (P.96)	再生位置をすばやく移動したり、短いフレーズを繰り返し再生するときに便利です。

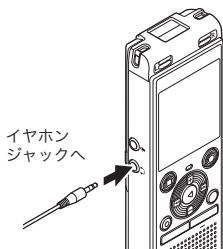
* **[レコーダー]** フォルダ内のファイルを選んでいるときのみ機能します。

イヤホンで聞くには

本機のイヤホンジャック (🔌) にイヤホンを接続して聞くことができます。

- イヤホンは別売になります。

1 本機のイヤホンジャック (🔌) にイヤホンを接続する



2 ▶OK ボタンを押して再生を開始する

- イヤホンを接続すると、スピーカから音は出ません。

⚠ 注意

再生中イヤホンで聞く場合、音量をあまり上げないでください。聴覚障害、聴力低下を引き起こすおそれがあります。

ご注意

- 耳への刺激を避けるため、音量を [00] にしてからイヤホンを入れてください。
- 音量を規定以上にすると、警告画面が表示される場合があります。

音楽ファイルについて

本機に転送した音楽ファイルが再生できないときは、サンプリングレートやビットレートが再生できる範囲かをご確認ください。本機で再生できる音楽ファイルのサンプリングレートやビットレートの組み合わせは以下のとおりです。

ファイル形式	サンプリングレート	ビットレート
MP3 形式	MPEG1 Layer3 : 32 kHz、 44.1 kHz、 48 kHz MPEG2 Layer3 : 16 kHz、 22.05 kHz、 24 kHz	8 kbps から 320 kbps まで

- 可変ビットレート (1つのファイル内でビットレートを可変させて変換) のMP3 ファイルの再生については、正常に動作しない場合があります。
- 本機で再生可能なファイル形式であっても、すべてのエンコーダに対応しているわけではありません。

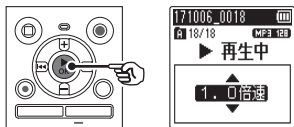
再生速度を変更する

再生速度を変更できます。会議の内容を早聞きしたり、語学学習で聞き取れなかった箇所を遅聞きするときに便利です。

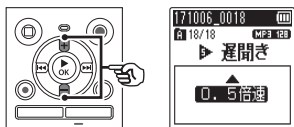
3

再生速度を変更する

1 再生中に▶OK ボタンを押す

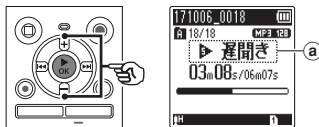


2 +または-ボタンを押して再生速度を変更する



- 0.5 倍速 (遅聞き再生) ~ 1.0 倍速 (通常再生) ~ 2.0 倍速 (早聞き再生) まで、0.1 倍速刻みで選べます。
- + ボタンを押すと再生速度が速くなり、- ボタンを押すと遅くなります。

3 ▶OK ボタンを押して設定を完了する



② 再生速度表示

ヒント

- 通常の再生速度に戻すには、[1.0 倍速] に設定してください。
- 再生速度を変更しても、通常の再生と同じように、再生の停止、ファイルの頭出し、インデックスマーク・テンプマークの挿入などの操作ができます。

ご注意

- 電源を切っても、変更した再生速度はそのまま保持されます。
- 再生速度を変更すると電池の消耗が早くなります。
- 再生速度を変更すると [ノイズキャンセル] 機能は使用できません (※ P.87)。

早聞き再生の制限事項について

再生ファイルのサンプリングレートやビットレートによっては、正常に動作しないことがあります。その場合は、再生速度を落として再生してください。

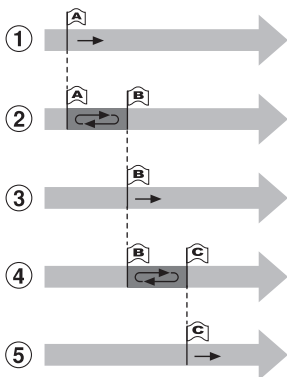
JP

50

ABC リピート再生をする

再生中のファイルの一部分を繰り返し再生できます。従来の A-B リピート機能に加えて、リピート再生中に反復区間を変更できます。ABC リピート再生中は語学学習に便利なシャドーイング再生機能が使用できます。シャドーイング再生機能を使う場合は、あらかじめ [シャドーイング] の設定を [ON] にしてください (P.89)。

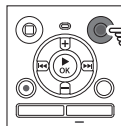
ABC リピート再生について



- ① 再生中にリピート再生したい部分の開始位置 (A) を決定します。
- ② 終了位置 (B) を決定すると AB 区間のリピート再生が始まります。
- ③ リピート再生中に開始位置 (A) を解除すると、終了位置だった部分 (B) が開始位置に変わり、再生を継続します。
- ④ 終了位置 (C) を決定すると BC 区間のリピート再生が始まります。
- ⑤ これらの操作を繰り返し、ファイルの終わりまでリピート再生の区間を更新できます。

- 1 ABC リピートしたいファイルを選び、再生を開始する

- 2 ABC リピート再生の開始位置で、録音 (●) ボタンを押す



- a) シャドーイング

- [シャドーイング] の設定が有効になっている場合は、終了位置を確定するまで [録音] が点灯します。

ヒント

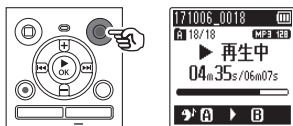
- [▶] が点滅中も再生スピードの切り替え (P.50) や、早送り・早戻し (P.47) が行えます。
- [▶] が点滅中にファイルの終わりまで到達すると、そこが終了位置になり、リピート再生を開始します。

ABC リpeat再生をする

3

ABC
リ
ピ
ー
ト
再
生
を
す
る

- 3** ABC リpeat再生の終了位置で、もう一度録音 (●) ボタンを押す



- A-B 区間が確定し、ABC リpeat再生を開始します。
- [シャドーイング] の設定が有効になっている場合は、繰り返し区間を通常再生 ([▶] が点灯) したあとに、繰り返し区間を無音 (設定により小音量またはゆっくり) ([▶] が点灯) 再生します。解除されるまでこの一連の動作を繰り返します。

繰り返し位置を更新する場合：

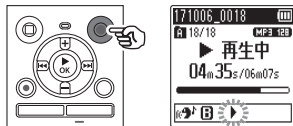
☞ 手順 4 へ

ABC リpeat再生を停止する場合：

☞ 手順 6 へ

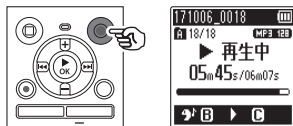
繰り返し位置を更新する

- 4** ABC リpeat再生中に録音 (●) ボタンを押す



- A-B 区間が解除されます。B が開始位置になり再生を継続します。
- 再生スピードの切り替え (☞ P.50) や早送り・早戻し (☞ P.47) が行えます。
- 終了位置を確定するまでシャドーイング再生は機能しません。

- 5** ABC リpeat再生の終了位置で録音 (●) ボタンを押す

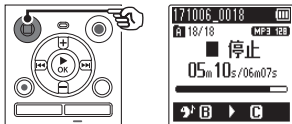


- B-C 区間が確定し、ABC リpeat再生を開始します。
- シャドーイング再生が機能します。

ヒント

- 手順 4 と手順 5 を繰り返すことで、ABC リpeat区間が更新できます。

6 停止 (■) ボタンを押す



- 再生が停止します。ABC リピート再生区間は解除されません。

ご注意

- ABC リピート再生の開始位置よりも前に繰り返し位置を変更することはできません。
- ABC リピート再生中にインデックスマーク・テンプマーク (P.54) を付けたり消去すると、ABC リピート再生が解除され通常再生に戻ります。

ABC リピート再生を解除する

1 停止中に停止 (■) ボタンを押す

ご注意

- ▶▶ または ◀◀ ボタンを操作して開始位置や終了位置を超えた場合、また他のファイルに切り替わった場合は、ABC リピート再生区間が解除されます。

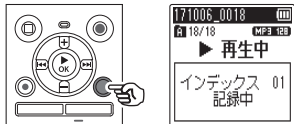
インデックスマーク・テンプマークを付ける

インデックスマークやテンプマークを付けると、早送り・早戻しやファイルの頭出し操作で、聞きたい位置をすばやく探せます。本機で作成したファイルにはインデックスマークが付けられます。インデックスマークが付けられないファイルにはテンプマークをが付けられます。またオリンパス製以外の機器で作成されたファイルにはテンプマークが付けられます。インデックスマークは録音中または再生中に付けられます。

3

インデックスマーク・テンプマークを付ける

- 録音中または再生中にインデックスマーク・テンプマークを付ける位置で、フォルダ/インデックスボタンを押す

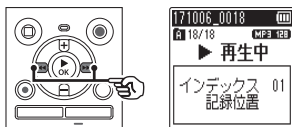


ご注意

- インデックスマーク・テンプマークは1つのファイル内に最大で99件まで付けられます。99件を超えてインデックスマーク・テンプマークを付けようとするとき「これ以上記録できません」と表示されます。
- ファイルロック (P.67) をかけてあるファイルは、インデックスマーク・テンプマークを付けたり消去することができません。
- テンプマークは一時的なマーキングです。他のファイルへ切り替えたり、ファイルをパソコンに転送したり、パソコンで移動すると自動的に消去されます。
- 本機で作成したファイルをパソコンで再生などを行うと、インデックスマークを付けられなくなることがあります。

インデックスマーク・テンプマークを消去する

- 消去したいインデックスマーク・テンプマークのあるファイルを選び、再生を開始する
- ▶▶ または ◀◀ ボタンを押して消去したいインデックスマーク・テンプマークを選ぶ



- ディスプレイにインデックス番号・テンプ番号が表示されている間 (約2秒間) に、消去ボタンを押す

- 消去したインデックスマーク・テンプマーク以降の番号は自動的に繰り上がります。

ヒント

- インデックスマークは一括で消去できます (P.55)。

消去する

本機には【インデックス全消去】【フォルダ内消去】【1件消去】【フォルダ消去】の4種類の消去メニューがあります。目的に合わせてお選びください。

ご注意

- 録音および再生を停止させてから操作を行ってください。
- 消去したファイル、フォルダ、インデックスは元に戻せません。消去の前には十分確認してください。

ファイル・インデックスを消去する

3

消去する

- 1 ファイルリスト表示またはファイル表示で消去したいファイルを選ぶ (P.33)

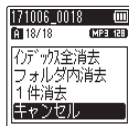
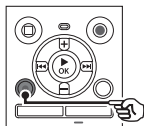
ファイルリスト
表示



ファイル表示

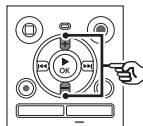


- 2 停止中に消去ボタンを押す



- 操作中に8秒間何も操作しないと停止状態に戻ります。

- 3 +または-ボタンを押して【インデックス全消去】、【フォルダ内消去】または【1件消去】を選ぶ



【インデックス全消去】:

選択したファイルに付けられたインデックスマークをすべて消去します。

【フォルダ内消去】:

選択したファイルが保存されているフォルダ内のファイルをすべて消去します。

【1件消去】:

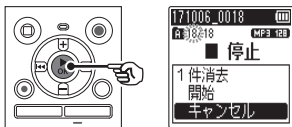
選択したファイルを消去します。

JP

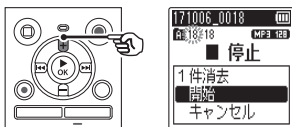
55

ファイル・インデックスを消去する

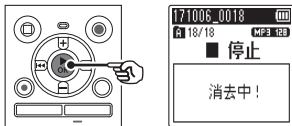
4 ▶OK ボタンを押す



5 + ボタンを押して [開始] を選ぶ



6 ▶OK ボタンを押す



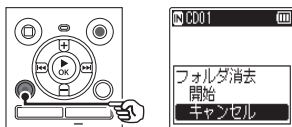
- ・ディスプレイが【消去中!】に変わり、消去を開始します。
【消去完了】と表示されたら終了です。

フォルダを消去する

1 フォルダリスト表示で消去したいフォルダを選ぶ (P.33)

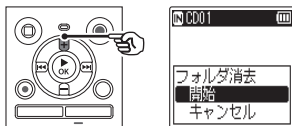


2 停止中に消去ボタンを押す



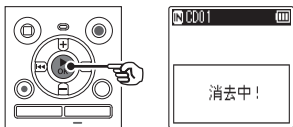
- ・操作中に 8 秒間何も操作しないと停止状態に戻ります。

3 + ボタンを押して [開始] を選ぶ



フォルダを消去する

4 ▶ OK ボタンを押す



- ディスプレイが【消去中!】に変わり、消去を開始します。
【消去完了】と表示されたら終了です。

ご注意

- ファイルロック (P.67) がかかっているファイルや、読み取り専用設定されているファイルは消去されません。
- 本機に microSD カードを入れた場合、操作する記録メディアが【内蔵メモリ】または【microSD カード】のどちらなのか間違えないよう必ず確認してください (P.103)。
- 本機のデフォルトフォルダの【レコーダー】(【フォルダ A】～【フォルダ E】)【ミュージック】【ポッドキャスト】は消去できません。
- 本機で認識できないファイルがある場合、そのファイルおよびファイルのあるフォルダは消去できません。パソコンに接続して消去してください。
- 消去中に電池が切れることのないように充電するか、新しい電池に交換してください。また、消去が完了するまで数十秒かかる場合があります。消去中には次のような操作は絶対にしないでください。データが破損するおそれがあります。
 - 消去中に電池を取り外す。
 - 消去する記録メディアが【microSD カード】の場合、消去中にカードを取り外す。

メニューについて

メニュー設定のしかた

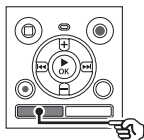
基本的な操作のしかた

ノーマルモードではメニュー内の項目がタブによって分類されているので、タブを選んで項目を移動すれば、すばやく目的の項目が設定できます。メニューの各項目は次の方法で設定が可能です。

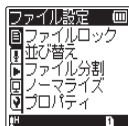
4

メニュー設定のしかた

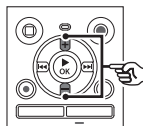
1 録音中、再生中または停止中にメニューボタンを押す



【シンプルモード】
の場合



2 +または-ボタンを押して設定したい項目のあるタブを選ぶ



【シンプルモード】
の場合



ご注意

- 【シンプルモード】のときは、再生中または停止中にメニューボタンを押してください。

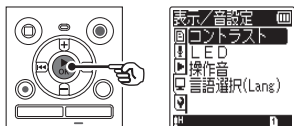
ヒント

- 録音中や再生中に設定できるメニュー項目については、メニューの一覧をご覧ください (P.65、P.66)。

- 設定タブのカーソルを移動させるとメニュー画面が切り替わります。

基本的な操作のしかた

3 ▶OK ボタンを押してカーソルを設定項目へ移動する

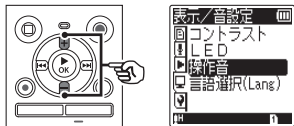


【シンプルモード】
の場合



- ▶▶ ボタンを押しても操作できます。
- ◀◀ ボタンを押すと1つ前の画面に戻ります。

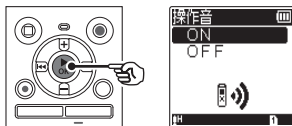
4 + または- ボタンを押して設定項目を選ぶ



【シンプルモード】
の場合



5 ▶OK ボタンを押す

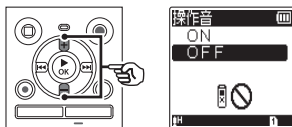


【シンプルモード】
の場合



- 選んだ項目の設定に移動します。

6 + または- ボタンを押して設定を変更する

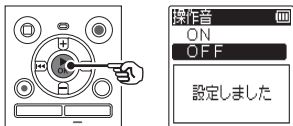


【シンプルモード】
の場合



基本的な操作のしかた

7 ▶OK ボタンを押して設定を完了する

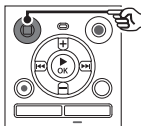


[シンプルモード]の場合



- 設定が確定されたことを画面でお知らせします。
- ▶OK ボタンを押さずに◀◀ ボタンを押すと、設定がキャンセルされ、1つ前の画面に戻ります。

8 停止 (■) ボタンを押してメニュー画面を終了する



- 録音中または再生中にメニュー画面に入った場合、メニューボタンを押すと、録音または再生を中断させることなく元の画面に戻ります。

ご注意

- 停止中からの設定では、3分間何も操作しないと停止状態に戻ります。この場合、設定途中の項目は変更されません。
- 録音または再生途中からの設定では、8秒間何も操作しないとメニュー機能はキャンセルされます。

メニューの一覧

ノーマルモード

■ ファイルに関するメニュー：

選択肢欄の 表記は初期設定です

設定タブ	設定項目	選択肢 / 内容
ファイル設定 [File Menu]	ファイルロック [File Lock] ☞ P.67	[ON] [OFF]
	並び替え [Sort by] ☞ P.68	[名前順] [日時昇順] [日時降順]
	ファイル分割 [File Divide] ☞ P.70	本機で録音したファイルを分割できます。
	ノーマライズ [Normalize] ☞ P.72	本機で録音したファイルの全体的な音量を上げます。
	プロパティ [Property] ☞ P.74	選んだファイルやフォルダの情報を確認できます。 ファイルを選んだ場合： [名前] [日時] [サイズ] [ビットレート] フォルダを選んだ場合： [名前] [ファイル数] [フォルダ数] *1

*1 [フォルダ数] は、[レコーダー] モードでは表示されません。

ノーマルモード

■ 録音に関するメニュー：

選択肢欄の 表記は初期設定です

設定タブ	設定項目	選択肢 / 内容
録音設定 [Rec Menu]	録音レベル [Rec Level] P.76	[高 (会議)] [低 (メモ)] [オート]
	録音モード [Rec Mode] P.78	[MP3 128kbps] [MP3 64kbps mono] [MP3 8kbps mono]
	ローカットフィルタ [Low Cut Filter] P.80	[ON] [OFF]
	VCVA [VCVA] P.81	[ON] [OFF]
	音声同期録音 [V-Sync. Rec] P.83	[1 秒] [2 秒] [3 秒] [5 秒] [OFF]
	オートインデックス [Auto index] P.85	[ON] [OFF]
	録音シーン [Rec Scene] P.40	[口述] [商談] [会議] [ダビング (自動分割)] : [カセット] [CD] [ダビング (タイマー)] : [OFF] [30 分] [60 分] [90 分] [120 分] [電話録音] [OFF]

ノーマルモード

■ 再生に関するメニュー：

選択肢欄の 表記は初期設定です

設定タブ	設定項目	選択肢 / 内容
再生設定 [Play Menu]	ノイズキャンセル [Noise Cancel] ☞ P.87	[HIGH] [LOW] [OFF]
	シャドーイング [Shadowing] ☞ P.89	[ON (無音)] [ON (小音量)] [ON (ゆっくり)] [OFF]
	ボイスバランサー [Voice Balancer] ☞ P.91	[ON] [OFF]
	再生モード [Play Mode] ☞ P.93	[レコーダー]： [再生範囲]： [ファイル] [フォルダ] [リピート]： [ON] [OFF] [ミュージック]： [再生範囲]： [ファイル] [フォルダ] [全ファイル] [リピート]： [ON] [OFF] [ランダム]： [ON] [OFF] [ポッドキャスト]： [再生範囲]： [ファイル] [フォルダ] [リピート]： [ON] [OFF]
	スキップ間隔 [Skip Space] ☞ P.96	[スキップ]： [ファイルスキップ] [10秒スキップ] [30秒スキップ] [1分スキップ] [5分スキップ] [10分スキップ] [逆スキップ]： [ファイルスキップ] [1秒スキップ] [2秒スキップ] [3秒スキップ] [5秒スキップ] [10秒スキップ] [30秒スキップ] [1分スキップ] [5分スキップ]

ノーマルモード

■ ディスプレイや音に関するメニュー:

選択肢欄の 表記は初期設定です

設定タブ	設定項目	選択肢 / 内容
表示/音設定 [LCD/Sound Menu]	コントラスト [Contrast] P.99	[01] ~ [06] ~ [12]
	LED [LED] P.100	[ON] [OFF]
	操作音 [Beep] P.101	[ON] [OFF]
	言語選択 (Lang) [Language] P.102	[日本語] [English]

ノーマルモード

■ 本機に関するメニュー：

選択肢欄の 表記は初期設定です

設定タブ	設定項目	選択肢 / 内容
本体設定 [Device Menu]	メモリ選択 [Memory Select] P.103	<input checked="" type="checkbox"/> 内蔵メモリ <input type="checkbox"/> [microSD カード]
	電池設定 [Battery] *1 P.104	<input checked="" type="checkbox"/> ニッケル水素充電電池 <input type="checkbox"/> [アルカリ乾電池]
	時計設定 [Time & Date] P.105	日時を設定します。
	モード選択 [Mode Select] P.107	<input checked="" type="checkbox"/> ノーマルモード <input type="checkbox"/> [シンプルモード]
	設定リセット [Reset Settings] P.108	メニュー設定（時計設定を除く）を初期設定に戻します。
	初期化 [Format] P.109	メモリを初期化します。
	メモリ情報 [Memory Info.] P.111	メモリの残量と容量を表示します。
	システム情報 [System Info.] P.112	<input checked="" type="checkbox"/> [モデル] <input type="checkbox"/> [バージョン] <input type="checkbox"/> [シリアル番号]

*1 V-863 のみ

● 録音中に設定できるメニュー項目：

[録音レベル] [ローカットフィルタ] [VCVA] *2 [LED]

*2 [VCVA] は、音声同期録音中と、オートインデックスの [ON] 設定時は表示されません。

● 再生中に設定できるメニュー項目：

[プロパティ] [ノイズキャンセル] *3 [ボイスバランサー] *3 [再生モード]
[スキップ間隔] [LED]

*3 [ノイズキャンセル] と [ボイスバランサー] は、[ミュージック] モードや [ポッドキャスト] モードでは表示されません。

シンプルモード

選択肢欄の 表記は初期設定です

設定項目	選択肢 / 内容
録音シーン [Rec Scene] ☞ P.40	[口述] [商談] [会議] [ダビング (自動分割)] : [カセット] [CD] [ダビング (タイマー)] : [OFF] [30分] [60分] [90分] [120分] [電話録音]
スキップ間隔 [Skip Space] ☞ P.96	[ファイル スキップ] [◀◀5秒 10秒▶▶] [◀◀5分 10分▶▶]
本体設定 [Device Menu] ☞ P.103	[メモリ選択] [Memory Select] ☞ P.103 [内蔵メモリ] [microSD カード] [電池設定] [Battery] *1 ☞ P.104 [ニッケル水素充電電池] [アルカリ乾電池] [時計設定] [Time & Date] ☞ P.105 日時を設定します。 [操作音] [Beep] ☞ P.101 [ON] [OFF] [モード選択] [Mode Select] ☞ P.107 [ノーマルモード] [シンプルモード] [言語選択 (Lang)] [Language] ☞ P.102 [日本語] [English]

*1 V-863 のみ

● 再生中に設定できるメニュー項目：

[スキップ間隔]

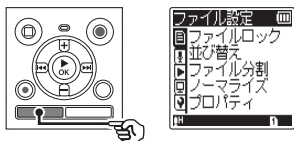
ファイルメニュー [ファイル設定]

ファイルの誤消去を防止する [ファイルロック]

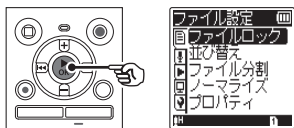
ファイルにファイルロックをかけることにより、重要なファイルの誤消去を防止できます。ロックがかかっているファイルは、フォルダ消去やフォルダ内のファイルの全消去を行っても消去されません (※ P.55)。

- 1 ファイルロックをかけたいファイルを選ぶ (※ P.33)

- 2 停止中にメニューボタンを押す



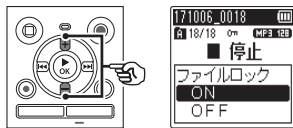
- 3 ▶OK ボタンを押す



・カーソルが設定項目へ移動します。

- 4 ▶OK ボタンを押す

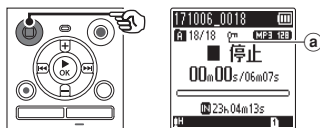
- 5 +または-ボタンを押して [ON] または [OFF] を選ぶ



- [ON] :
ファイルロックがかかります。
- [OFF] :
ファイルロックが解除されます。

- 6 ▶OK ボタンを押して設定を完了する

- 7 停止 (■) ボタンを押してメニュー画面を終了する



① ファイルロック

ご注意

- ・ファイルロックをかけてあるファイルは、ファイル分割 (※ P.70) や、インデックスマーク・テンプマーク (※ P.54) 機能が使えません。

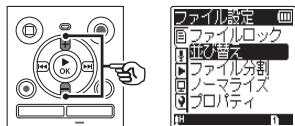
ファイルを並べ替える【並び替え】

フォルダ内に保存されているファイルの再生順を一括で変更できます。並べ替え方法は【名前順】、【日付昇順】、【日付降順】の3通りから選べます。

- 1 停止中にメニューボタンを押す

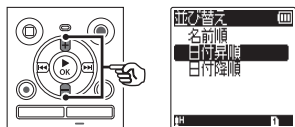
- 2 ▶OK ボタンを押す
 - ・カーソルが設定項目へ移動します。

- 3 +または-ボタンを押して【並び替え】を選ぶ



- 4 ▶OK ボタンを押す

- 5 +または-ボタンを押して【名前順】、【日付昇順】または【日付降順】を選ぶ



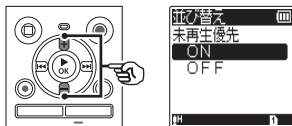
【名前順】：
ファイルを自動的に名前順で並べ替えます。

【日付昇順】：
ファイルを自動的に更新日時（録音日）の昇順で並べ替えます。

【日付降順】：
ファイルを自動的に更新日時（録音日）の降順で並べ替えます。

- 6 ▶OK ボタンを押す

- 7 +または-ボタンを押して未再生ファイルの優先度を選ぶ

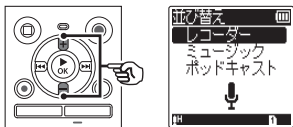


【ON】：
未再生ファイルを優先させて並べ替えます。

【OFF】：
未再生ファイルの優先をオフにします。

ファイルを並べ替える【並び替え】

- 8 +または-ボタンを押して
[レコーダー]、[ミュージック]
または[ポッドキャスト]を選ぶ

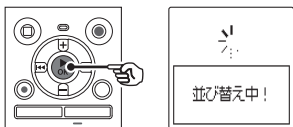


- 選択したフォルダ内の全ファイルを並べ替えます。

ご注意

- フォルダは常に名前順で表示されず。並べ替えはできません。

- 9 ▶OK ボタンを押す

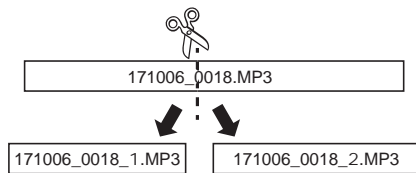


- ディスプレイが「並び替え中!」に変わり、並べ替えを開始します。
[順番を変更しました]と表示されたら終了です。

- 10 停止 (■) ボタンを押して
メニュー画面を終了する

ファイルを分割する【ファイル分割】

容量の大きいファイルや録音時間の長いファイルを分割して管理・編集しやすくなります。分割後に不要なファイルを消去すると、メモリを節約できます。



ご注意

- 本機で録音したファイルのみ分割できます。

1 ファイルを再生して分割したい位置で停止させる

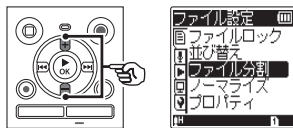
- ▶▶ または ◀◀ ボタンを押し続けると早送り・早戻しします。
- 分割位置はあらかじめインデックスマークを付けておくとう便利です。

2 停止中にメニューボタンを押す

3 ▶OK ボタンを押す

- カーソルが設定項目へ移動します。

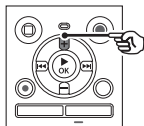
4 + または - ボタンを押して【ファイル分割】を選ぶ



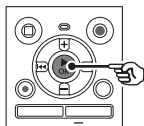
5 ▶OK ボタンを押す

ファイルを分割する【ファイル分割】

6 + ボタンを押して【開始】を選ぶ



7 ▶OK ボタンを押す



- ディスプレイが【分割中!】に変わり、ファイル分割を開始します。
【分割しました】と表示されたら終了です。

8 停止 (■) ボタンを押してメニュー画面を終了する

ヒント

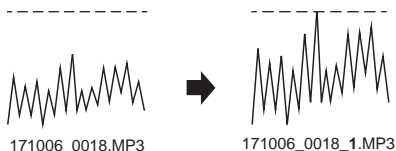
- 分割後のファイル名は、前半部分のファイルが「ファイル名_1」、後半部分のファイルが「ファイル名_2」となります。

ご注意

- フォルダ内のファイル件数が 199 件以上の場合、分割できません。
- ファイルロック (P.67) がかかっているファイルは分割できません。
- 録音時間の極端に短いファイルは分割できない場合があります。
- ファイルの分割中に電池を抜かないでください。データが破損するおそれがあります。

ファイルの音量レベルを全体的に上げる【ノーマライズ】

録音したファイルの一番大きな音量が音割れしない（歪まない）限界値まで全体的に音量を大きくして新しいファイルとして保存します。



4

ファイルメニュー「ファイル設定」

ご注意

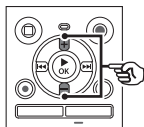
- ・本機で録音したファイルのみ音量レベルを上げられます。

1 あらかじめ音量を上げたいファイルを選ぶ（P.33）

2 停止中にメニューボタンを押す

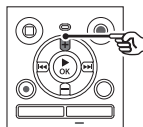
3 ▶OK ボタンを押す
・カーソルが設定項目へ移動します。

4 + または- ボタンを押して【ノーマライズ】を選ぶ



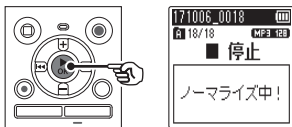
5 ▶OK ボタンを押す

6 + ボタンを押して【開始】を選ぶ



ファイルの音量レベルを全体的に上げる【ノーマライズ】

7 ▶OK ボタンを押す



- ディスプレイが【ノーマライズ中!】に変わり、ノーマライズを開始します。【ノーマライズしました】と表示されたら終了です。

8 停止 (■) ボタンを押してメニュー画面を終了する

ヒント

- ノーマライズ後に作成されるファイル名は、「ファイル名_1」となります。

ご注意

- 以下のようなファイルでは、ノーマライズの効果が得られない場合があります。
 - 元々大きな音量で録音されているファイル。
 - 突発的に大きな音が録音されているファイル。
 - 音量のばらつきが大きなファイル。
- フォルダ内のファイル件数が200件の場合、ノーマライズできません。
- ノーマライズ中に電池を抜かないでください。データが破損するおそれがあります。

ファイルの情報を見る【プロパティ】

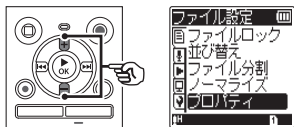
メニュー画面からファイルやフォルダの情報を確認できます。

1 情報を表示したいファイルまたはフォルダを選ぶ (P.33)

2 停止中または再生中にメニューボタンを押す

3 ▶OK ボタンを押す
・カーソルが設定項目へ移動します。

4 +または-ボタンを押して【プロパティ】を選ぶ



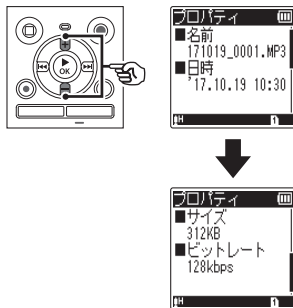
5 ▶OK ボタンを押す

ファイルを選んだ場合：
手順 6へ

フォルダを選んだ場合：
手順 8へ

ファイルの情報

6 +または-ボタンを押して画面を切り替える



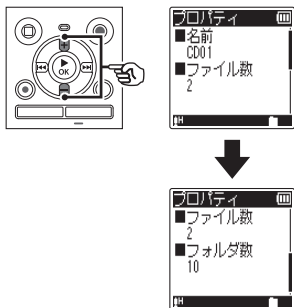
・[名前] [日時] [サイズ] [ビットレート] が表示されます。

7 情報を確認したら▶OK ボタンを押して手順 10に進む

ファイルの情報を見る【プロパティ】

フォルダの情報

- 8 +または-ボタンを押して画面を切り替える



- ・ [名前] [フォルダ数] [ファイル数] が表示されます。
- ・ [レコーダー] モードの場合、[フォルダ数] は表示されません。
- ・ 本機で認識できない形式のファイルについては、ファイル数に含まれません。

- 9 情報を確認したら▶OK ボタンを押して手順 10に進む

- 10 停止 (■) ボタンを押してメニュー画面を終了する

録音メニュー [録音設定]

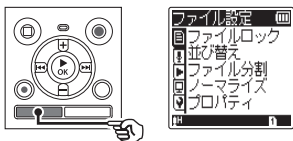
録音感度を選択する [録音レベル]

目的に合わせて内蔵マイクの録音感度を切り替えられます。

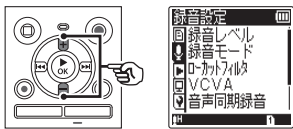
4

録音メニュー
「録音設定」

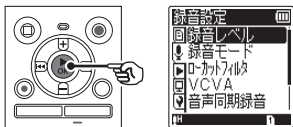
- 1 停止中または録音中にメニューボタンを押す



- 2 + または - ボタンを押して [録音設定] タブを選ぶ



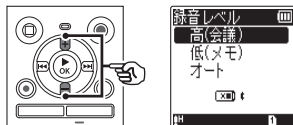
- 3 ▶ OK ボタンを押す



・カーソルが設定項目へ移動します。

- 4 ▶ OK ボタンを押す

- 5 + または - ボタンを押して [高 (会議)]、[低 (メモ)] または [オート] を選ぶ



[高 (会議)] :

録音感度が高く、講義や大人数の会議など、遠くの音や小さな音の録音に適しています。

[低 (メモ)] :

録音感度が低く、口述録音などマイク近くの音の録音に適しています。

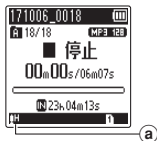
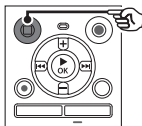
[オート] :

入力された音量に追従して、録音感度が自動的に変化します。音声全般を録音するときに適しています。

- 6 ▶ OK ボタンを押して設定を完了する

録音感度を選択する【録音レベル】

7 停止 (■) ボタンを押して
メニュー画面を終了する



a 録音レベル

ヒント

- 話し手の声をはっきりと録音したい場合、**【録音レベル】**を**【低 (メモ)】**に設定し、本機の内蔵マイクを話し手の口に近づけて (5～10cm) 録音してください。

録音モードを設定する [録音モード]

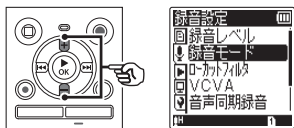
高音質または録音可能時間を重視した録音モードが選べます。

1 停止中にメニューボタンを押す

2 +または-ボタンを押して [録音設定] タブを選ぶ

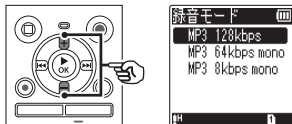
3 ▶OK ボタンを押す
・カーソルが設定項目へ移動します。

4 +または-ボタンを押して [録音モード] を選ぶ



5 ▶OK ボタンを押す

6 +または-ボタンを押して 録音モードを選ぶ



[MP3 128 kbps]

[MP3 64 kbps mono] *

[MP3 8 kbps mono] *

* モノラル録音になります。

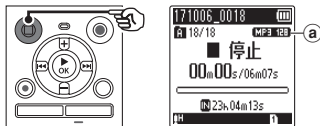
ヒント

- ・録音モードは数値が高いほどより高音質になります。
- ・高い録音レートに設定した場合、ファイル容量が大きくなります。録音操作の前に、メモリ残量が充分にあるかご確認ください。
- ・会議や講演会などをはっきりと録音したい場合、[録音モード] の設定を [MP3 128kbps] にして録音することをおすすめします。

7 ▶OK ボタンを押して設定を完了する

録音モードを設定する【録音モード】

- 8 停止 (■) ボタンを押して
メニュー画面を終了する



a 録音モード

ご注意

- [録音モード] の設定をステレオ方式にして外部モノラルマイクを接続した場合、Lチャンネルのみに音声記録されます。
- [録音モード] の設定を [MP3 8 kbps mono] にしたときは、内蔵マイクの (R) 側がオフになります。

ノイズを軽減して録音する【ローカットフィルタ】

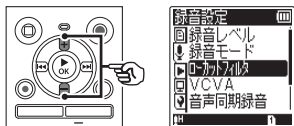
エアコンの空調音やプロジェクターなどの作動音による雑音を軽減して録音できます。

1 停止中または録音中にメニューボタンを押す

2 +または-ボタンを押して【録音設定】タブを選ぶ

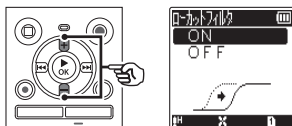
3 ▶OKボタンを押す
・カーソルが設定項目へ移動します。

4 +または-ボタンを押して【ローカットフィルタ】を選ぶ



5 ▶OKボタンを押す

6 +または-ボタンを押して【ON】または【OFF】を選ぶ



【ON】:

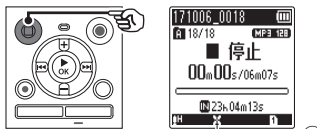
ローカットフィルタが機能します。

【OFF】:

ローカットフィルタをオフにします。

7 ▶OKボタンを押して設定を完了する

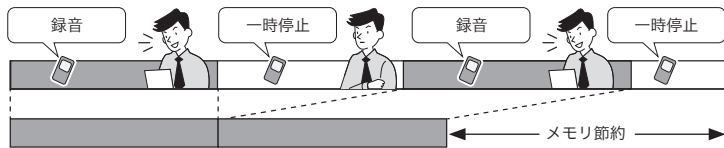
8 停止 (■) ボタンを押してメニュー画面を終了する



(a) ローカットフィルタ

音声起動録音機能を使う【VCVA】

音声起動録音（VCVA）とは、設定した音声起動レベルよりも大きな音声を検知すると自動的に録音が始まり、音声小さくなると自動的に録音を一時停止する機能です。会議中の長い沈黙などを自動的にカットして録音することによりメモリを節約できます。

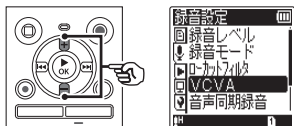


1 停止中または録音中にメニューボタンを押す

2 +または-ボタンを押して【録音設定】タブを選ぶ

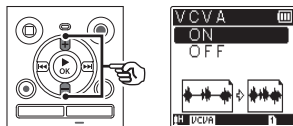
3 ▶OKボタンを押す
・カーソルが設定項目へ移動します。

4 +または-ボタンを押して【VCVA】を選ぶ



5 ▶OKボタンを押す

6 +または-ボタンを押して【ON】または【OFF】を選ぶ



【ON】:

VCVA が機能します。VCVA の音声起動レベルは調整できます。

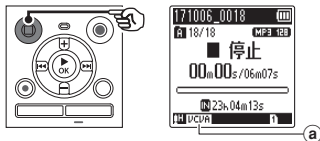
【OFF】:

VCVA がオフになり、通常の録音に戻ります。

7 ▶OKボタンを押して設定を完了する

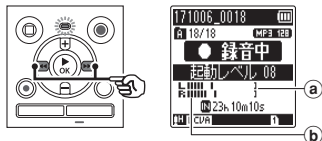
音声起動録音機能を使う [VCVA]

- 8 停止 (■) ボタンを押してメニュー画面を終了する



a VCVA (音声起動録音)

- 2 ▶▶ または ◀◀ ボタンを押して音声起動レベルを調整する

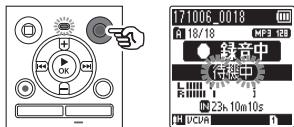


- a 音声起動レベル (設定レベルに応じて左右に動きます)
 b レベルメーター (録音音量に合わせて変化します)

• [01] ~ [15] の範囲で調整できます。

音声起動レベルを調整して録音する

- 1 録音 (●) ボタンを押して録音を開始する



- 設定した起動レベルより音小さくなると約 1 秒後に自動的に録音が一時停止します。

このときディスプレイに [待機中] が点滅します。録音起動中は LED 表示ランプが点灯し、一時停止中は点滅します。

ヒント

- 起動レベルの数字が大きくなるほど、小さな音でも録音を開始します。
- まわりの雑音が大いなど、録音状況に応じて VCVA の音声起動レベルを調整してください。
- 失敗のない録音を行うために、事前に試し録音で音声起動レベルを調整することをおすすめします。

ご注意

- VCVA 機能を使うときは、以下の機能は使用できません。
 - [録音シーン] (P.40)
 - [音声同期録音] (P.83)
 - [オートインデックス] (P.85)

音声同期録音機能を使う [音声同期録音]

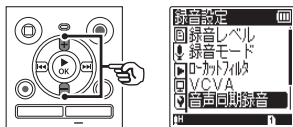
音声同期録音は、設定した音声同期録音レベル（検出レベル）よりも大きな音声を感知すると自動的に録音を開始し、音声が小さくなると自動的に録音を停止する機能です。他の機器と接続して音楽をダビングするときは、曲間の無音部分を検出して1曲ごとにファイルとして保存されます。

1 停止中にメニューボタンを押す

2 +または-ボタンを押して [録音設定] タブを選ぶ

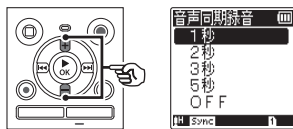
3 ▶OK ボタンを押す
・カーソルが設定項目へ移動します。

4 +または-ボタンを押して [音声同期録音] を選ぶ



5 ▶OK ボタンを押す

6 +または-ボタンを押して設定を変更する



[1秒] [2秒] [3秒] [5秒] :

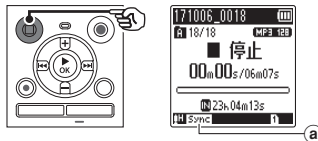
検出時間を設定します。規定レベル以下の入力（録音レベル）が設定した検出時間以上続くと、本機は待機状態になります。

[OFF] :

音声同期録音がオフになり、通常の録音に戻ります。

7 ▶OK ボタンを押して設定を完了する

8 停止 (■) ボタンを押してメニュー画面を終了する

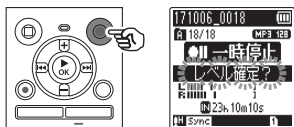


a V-sync（音声同期録音）

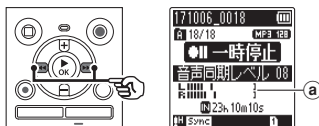
音声同期録音機能を使う [音声同期録音]

音声同期レベルを調整して録音する

1 録音 (●) ボタンを押して録音の準備をする

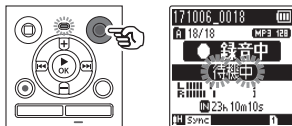


2 ▶▶ または ◀◀ ボタンを押して音声同期レベルを調整する



- ① 音声同期レベル (設定レベルに応じて左右に動きます)
- 音声同期レベルは [01] ~ [15] まで調整できます。
 - 起動レベルの数字が大きくなるほど、小さな音でも録音を開始します。

3 もう一度録音 (●) ボタンを押す



- ディスプレイに [待機中] が点滅し、LED 表示ランプが点滅します。
- 音声同期レベル以上の入力があると、自動的に録音を開始します。

ヒント

- 音声同期レベル以下の音が設定した検出時間以上続くと録音が自動的に終了し、録音待機状態に戻ります。待機状態になるたびにファイルは閉じられ、次に音声を感知したときは新しいファイルに録音されます。
- 音声同期録音を途中で止める場合、**停止 (■)** ボタンを押してください。

ご注意

- [音声同期録音] 機能を使うときは、以下の機能は使用できません。
 - [録音シーン] (※ P.40)
 - [VCVA] (※ P.81)
 - [オートインデックス] (※ P.85)

有音開始位置にインデックスマークを付ける [オートインデックス]

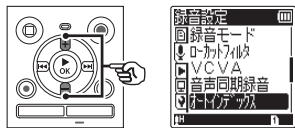
オートインデックスは、3分以上無音が続いたあとの有音開始位置にインデックスマークを付ける機能です。再生するときの無音区間が飛ばしやすくなります。

1 停止中にメニューボタンを押す

2 +または-ボタンを押して [録音設定] タブを選ぶ

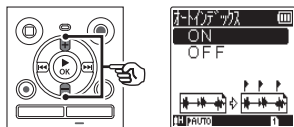
3 ▶OK ボタンを押す
・カーソルが設定項目へ移動します。

4 +または-ボタンを押して [オートインデックス] を選ぶ



5 ▶OK ボタンを押す

6 +または-ボタンを押して [ON] または [OFF] を選ぶ



[ON] :

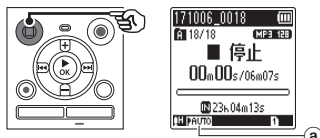
オートインデックスが機能します。3分間無音が続いたあとの有音開始位置に、自動でインデックスマークが付きまます。

[OFF] :

オートインデックスをオフにします。

7 ▶OK ボタンを押して設定を完了する

8 停止 (■) ボタンを押してメニュー画面を終了する

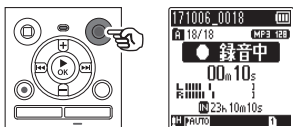


a) オートインデックス

有音開始位置にインデックスマークを付ける [オートインデックス]

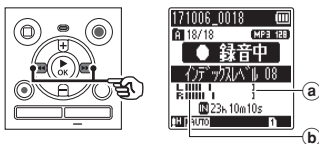
インデックスレベルを調整する

1 録音 (●) ボタンを押して録音を開始する



- 設定したインデックスレベル以下が3分間続いたあとにインデックスレベルより音が大きくなるとインデックスマークが付きます。

2 ▶▶ または ◀◀ ボタンを押してインデックスレベルを調整する



- ① インデックスレベル (設定レベルに応じて左右に動きます)
 - ② レベルメーター (録音音量に合わせて変化します)
- [01] ~ [15] の範囲で調整できます。

ご注意

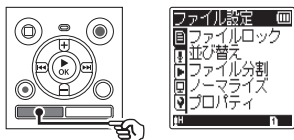
- オートインデックスは最大で99件まで付きます。99件を超えると [インデックス件数がいっぱいです] と表示されます。
- [オートインデックス] 機能を使うときは、以下の機能は使用できません。
 - [録音シーン] (P.40)
 - [VCVA] (P.81)
 - [音声同期録音] (P.83)

再生メニュー [再生設定]

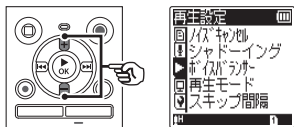
ノイズを軽減して再生する [ノイズキャンセル]

録音した音声聞き取りにくいときはノイズキャンセルを設定してください。

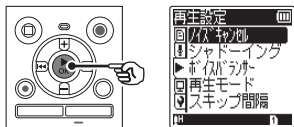
- 1 停止中または再生中にメニューボタンを押す



- 2 +または-ボタンを押して [再生設定] タブを選ぶ



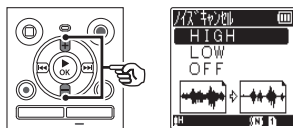
- 3 ▶OK ボタンを押す



・カーソルが設定項目へ移動します。

- 4 ▶OK ボタンを押す

- 5 +または-ボタンを押して [HIGH]、[LOW] または [OFF] を選ぶ



[HIGH] [LOW] :

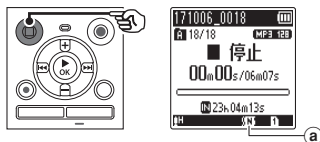
周囲の雑音を低減し、よりクリアな音質で再生します。

[OFF] :

ノイズキャンセルをオフにします。

- 6 ▶OK ボタンを押して設定を完了する

- 7 停止 (■) ボタンを押してメニュー画面を終了する



① ノイズキャンセル

4

再生メニュー [再生設定]

JP

87

ノイズを軽減して再生する [ノイズキャンセル]

ご注意

- [ノイズキャンセル] は [レコーダー] モードでのみ機能します。
- [ノイズキャンセル] 機能を使用すると電池の消耗が早くなります。
- [ノイズキャンセル] 機能を使うときは、以下の機能は使用できません。
 - 再生スピードの変更 (☞ P.50)
 - [シャドーイング] 機能の [ON (ゆっくり)] (☞ P.89)

音ありと音なしを交互に繰り返して再生する [シャドーイング]

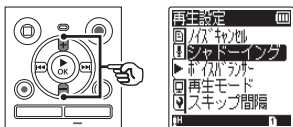
本機のシャドーイング機能では、ABC リピート再生 (P.51) の設定区間を、通常の音量と、無音 (設定により小音量またはゆっくり) とを交互に繰り返して再生します。ヒアリング練習とスピーキング練習に最適な機能で、語学学習にお役立てください。

1 停止中にメニューボタンを押す

2 + または - ボタンを押して [再生設定] タブを選ぶ

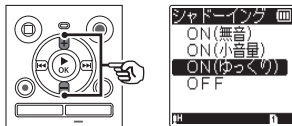
3 ▶ OK ボタンを押す
・カーソルが設定項目へ移動します。

4 + または - ボタンを押して [シャドーイング] を選ぶ



5 ▶ OK ボタンを押す

6 + または - ボタンを押して [ON (無音)]、[ON (小音量)]、[ON (ゆっくり)] または [OFF] を選ぶ



[ON (無音)] :

通常の音量で繰り返し区間を再生したあとに、無音で繰り返し区間を再生します。

[ON (小音量)] :

通常の音量で繰り返し区間を再生したあとに、小音量で繰り返し区間を再生します。

[ON (ゆっくり)] :

繰り返し区間を再生したあとに、ゆっくりのスピードで繰り返し区間を再生します。

[OFF] :

シャドーイング再生をオフにします。

音ありと音なしを交互に繰り返して再生する [シャドーイング]

7 ▶OK ボタンを押して設定を完了する

8 停止 (■) ボタンを押してメニュー画面を終了する

4

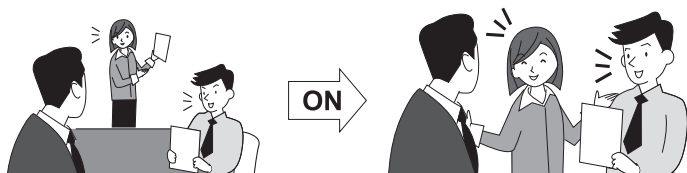
再生メニュー [再生設定]

ご注意

- シャドーイング再生は、ABC リピート再生を行うことで有効となる機能です。
シャドーイング再生の設定を完了してメニュー画面を終了したら、「**ABC リピート再生をする**」(※ P.51)をご覧ください。
- [シャドーイング] の [ON (ゆっくり)] を設定すると、[ノイズキャンセル] 機能は使用できません (※ P.87)。

小さい音を補正して再生する [ボイスバランサー]

低音域と高音域成分をカットし、音量が小さい部分を大きくなるように補正する機能です。会話などの小さい音を大きく明瞭にします。



4

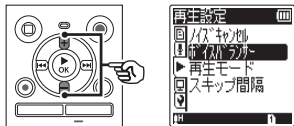
再生メニュー [再生設定]

1 停止中または再生中にメニューボタンを押す

2 +または-ボタンを押して [再生設定] タブを選ぶ

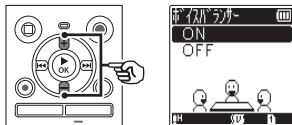
3 ▶OK ボタンを押す
・カーソルが設定項目へ移動します。

4 +または-ボタンを押して [ボイスバランサー] を選ぶ



5 ▶OK ボタンを押す

6 +または-ボタンを押して [ON] または [OFF] を選ぶ



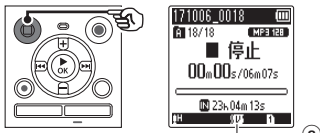
[ON]:
ボイスバランサーが機能します。

[OFF]:
ボイスバランサーをオフにします。

7 ▶OK ボタンを押して設定を完了する

小さい音を補正して再生する【ボイスバランサー】

- 8 停止 (■) ボタンを押して
メニュー画面を終了する



a ボイスバランサー

ご注意

- [ボイスバランサー] は [レコーダー] モードでのみ機能します。
- [ボイスバランサー] 機能を使用すると電池の消耗が早くなります。

再生モードを選択する [再生モード]

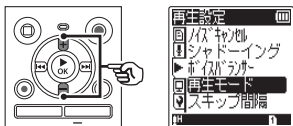
本機は多彩な再生モードを備えています。お好みに合わせてお選びください。

1 停止中または再生中にメニューボタンを押す

2 +または-ボタンを押して [再生設定] タブを選ぶ

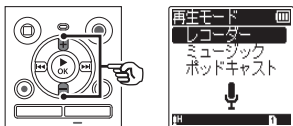
3 ▶OK ボタンを押す
・カーソルが設定項目へ移動します。

4 +または-ボタンを押して [再生モード] を選ぶ



5 ▶OK ボタンを押す

6 +または-ボタンを押して [レコーダー]、[ミュージック] または [ポッドキャスト] を選ぶ



7 ▶OK ボタンを押す

[レコーダー] または [ポッドキャスト] を選んだ場合:

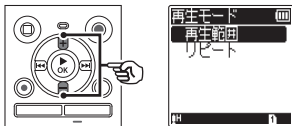
☞ 手順 8 へ

[ミュージック] を選んだ場合:

☞ 手順 12 へ

[レコーダー] または [ポッドキャスト] を選んだ場合

8 +または-ボタンを押して [再生範囲] または [リピート] を選ぶ



[再生範囲]:

ファイル再生の範囲を指定します。

[リピート]:

設定された範囲を繰り返して再生します。

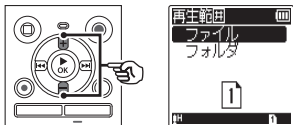
再生モードを選択する [再生モード]

4

再生メニュー [再生設定]

9 ▶OK ボタンを押す

10 + または - ボタンを押して
設定を選ぶ



【再生範囲】を選んだ場合：

【ファイル】：

現在のファイルを再生後に停止します。

【フォルダ】：

現在のフォルダ内の最終ファイルまで連続再生して停止します。

【リピート】を選んだ場合：

【ON】：

再生範囲をリピート再生します。

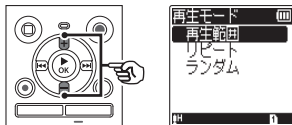
【OFF】：

リピート再生を解除します。

11 ▶OK ボタンを押して手順 16
に進む

【ミュージック】を選んだ場合

12 + または - ボタンを押して
【再生範囲】、【リピート】または
【ランダム】を選ぶ



【再生範囲】：

ファイル再生の範囲を指定します。

【リピート】：

設定された範囲を繰り返して再生します。

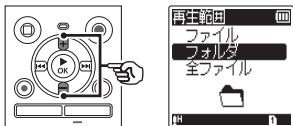
【ランダム】：

設定された範囲をランダムに再生します。

13 ▶OK ボタンを押す

再生モードを選択する [再生モード]

- 14 +または-ボタンを押して設定を選ぶ



【再生範囲】を選んだ場合：

【ファイル】【フォルダ】【全ファイル】：

ファイル再生の範囲を指定します。

【リピート】または【ランダム】を選んだ場合：

【ON】：

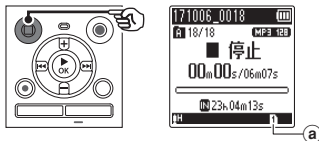
再生範囲をリピート再生またはランダム再生します。

【OFF】：

リピート再生およびランダム再生を解除します。

- 15 ▶OKボタンを押して手順 16に進む

- 16 停止 (■) ボタンを押してメニュー画面を終了する



① 再生モード

ご注意

- 【再生範囲】を【ファイル】に設定するとフォルダ内の最終ファイルを再生後、ディスプレイに【ファイルエンド】が2秒間点滅し、最終ファイルの開始位置で停止します。
- 【再生範囲】を【フォルダ】に設定した状態で、フォルダ内の最終ファイルの終わりまで進むと、ディスプレイに【ファイルエンド】が2秒間点滅し、フォルダ内にある先頭ファイルの開始位置で停止します。

スキップ間隔を設定する [スキップ間隔]

再生中のファイルを設定した間隔だけスキップ（送る）または逆スキップ（戻る）して再生できる機能で、再生位置をすばやく移動したり、短いフレーズを繰り返し再生するときなどに便利です。

ノーマルモードの場合

4

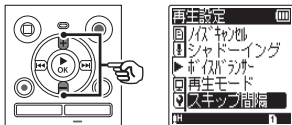
再生メニュー [再生設定]

- 1 停止中または再生中にメニューボタンを押す

- 2 + または - ボタンを押して [再生設定] タブを選ぶ

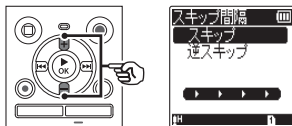
- 3 ▶ OK ボタンを押す
 - ・カーソルが設定項目へ移動します。

- 4 + または - ボタンを押して [スキップ間隔] を選ぶ



- 5 ▶ OK ボタンを押す

- 6 + または - ボタンを押して [スキップ] または [逆スキップ] を選ぶ



[スキップ] :

設定した間隔分だけ送って再生を開始します。

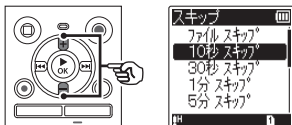
[逆スキップ] :

設定した間隔分だけ戻って再生を開始します。

- 7 ▶ OK ボタンを押す

スキップ間隔を設定する [スキップ間隔]

- 8 + または - ボタンを押して設定を選ぶ



[スキップ] を選んだ場合：

[ファイル スキップ] [10秒 スキップ]
[30秒 スキップ] [1分 スキップ]
[5分 スキップ] [10分 スキップ]

[逆スキップ] を選んだ場合：

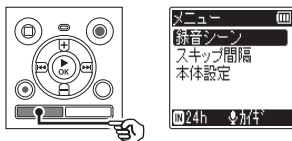
[ファイル スキップ]
[1秒 スキップ] ~ [3秒 スキップ]
[5秒 スキップ] [10秒 スキップ]
[30秒 スキップ] [1分 スキップ]
[5分 スキップ]

- 9 ▶OK ボタンを押して設定を完了する

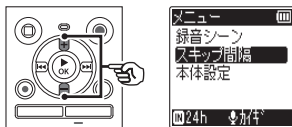
- 10 停止 (■) ボタンを押してメニュー画面を終了する

シンプルモードの場合

- 1 停止中または再生中にメニューボタンを押す



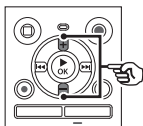
- 2 + または - ボタンを押して [スキップ間隔] を選ぶ



- 3 ▶OK ボタンを押す

- 4 + または - ボタンを押して [ファイルスキップ]、
[◀◀5秒 10秒 ▶▶] または
[◀◀5分 10分 ▶▶] を選ぶ

スキップ間隔を設定する [スキップ間隔]



[ファイルスキップ] :

ファイル単位でスキップします。

[◀◀5秒 10秒▶▶] :

◀◀ ボタンを押すと 5 秒戻り、
▶▶ ボタンを押すと 10 秒送って再生を開始します。

[◀◀5分 10分▶▶] :

◀◀ ボタンを押すと 5 分戻り、
▶▶ ボタンを押すと 10 分送って再生を開始します。

スキップ・逆スキップ再生のしかた

1 ▶OK ボタンを押して再生を開始する

2 再生中に ▶▶ または ◀◀ ボタンを押す

- 設定した間隔でスキップまたは逆スキップして再生を開始します。

5 ▶OK ボタンを押して設定を完了する

6 停止 (■) ボタンを押してメニュー画面を終了する

ご注意

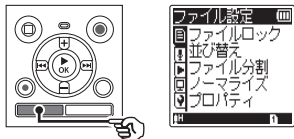
- スキップ間隔より近い位置にインデックスマーク・テンプレマーク、頭出し位置がある場合、その位置にスキップ・逆スキップします。

表示/音メニュー [表示/音設定]

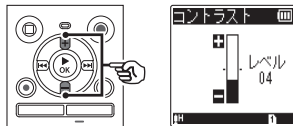
コントラストを調整する [コントラスト]

ディスプレイのコントラストを 12 段階に調整できます。

- 1 停止中にメニューボタンを押す

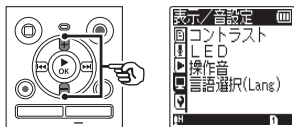


- 5 + または - ボタンを押してレベルを調整する



- [01] から [12] の間で調整を行います。

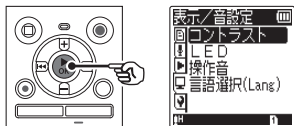
- 2 + または - ボタンを押して [表示/音設定] タブを選ぶ



- 6 ▶OK ボタンを押して設定を完了する

- 7 停止 (■) ボタンを押してメニュー画面を終了する

- 3 ▶OK ボタンを押す



- カーソルが設定項目へ移動します。

- 4 ▶OK ボタンを押す

LED 表示ランプを設定する [LED]

LED 表示ランプが点灯しないように設定できます。

4

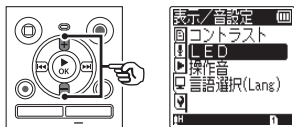
表示/音メニュー「表示/音設定」

1 録音中、再生中または停止中にメニューボタンを押す

2 +または-ボタンを押して [表示/音設定] タブを選ぶ

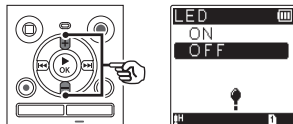
3 ▶OK ボタンを押す
・カーソルが設定項目へ移動します。

4 +または-ボタンを押して [LED] を選ぶ



5 ▶OK ボタンを押す

6 +または-ボタンを押して設定を変更する



[ON] :

LED 表示ランプが点灯します。

[OFF] :

LED 表示ランプは点灯しません。

- ・ [LED] の設定を [OFF] にしても、パソコン間でのデータ転送中は点滅します。

7 ▶OK ボタンを押して設定を完了する

8 停止 (■) ボタンを押してメニュー画面を終了する

操作音を設定する [操作音]

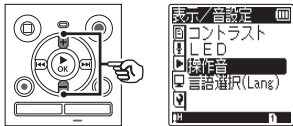
ボタン操作を知らせたり誤操作を警告するときに操作音が鳴ります。操作音は鳴らす、鳴らさないを選べます。

1 停止中にメニューボタンを押す

2 +または-ボタンを押して
[表示/音設定] タブを選ぶ

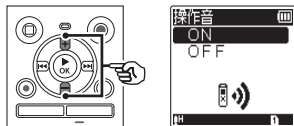
3 ▶OK ボタンを押す
・カーソルが設定項目へ移動します。

4 +または-ボタンを押して
[操作音] を選ぶ



5 ▶OK ボタンを押す

6 +または-ボタンを押して
設定を変更する



[ON] :
操作音が鳴ります。

[OFF] :
操作音は鳴りません。

7 ▶OK ボタンを押して設定を
完了する

8 停止 (■) ボタンを押して
メニュー画面を終了する

表示言語を切り替える [言語選択 (Lang)]

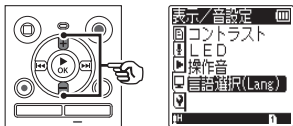
日本語表示と英語表示のどちらかを選べます。

1 停止中にメニューボタンを押す

2 +または-ボタンを押して [表示/音設定] タブを選ぶ

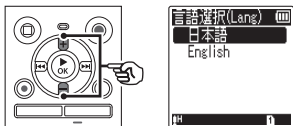
3 ▶OK ボタンを押す
・カーソルが設定項目へ移動します。

4 +または-ボタンを押して [言語選択 (Lang)] を選ぶ



5 ▶OK ボタンを押す

6 +または-ボタンを押して設定を変更する



7 ▶OK ボタンを押して設定を完了する

8 停止 (■) ボタンを押してメニュー画面を終了する

ヒント

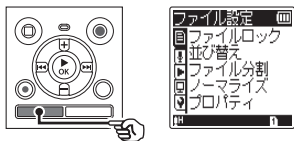
- ・表示言語を切り替えても、すでに入力してあるフォルダ名やファイル名の言語は変わりません。

本体メニュー [本体設定]

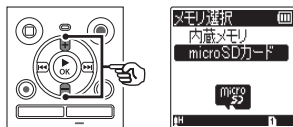
記録メディアを選択する [メモリ選択]

microSD カードを入れると、内蔵メモリに記録するか microSD カードに記録するか選べます (P.27)。

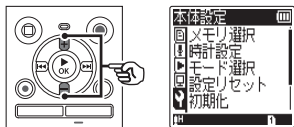
- 1 停止中にメニューボタンを押す



- 5 + または - ボタンを押して記録メディアを選ぶ

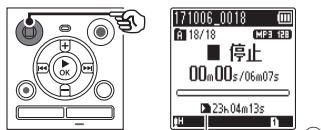


- 2 + または - ボタンを押して [本体設定] タブを選ぶ



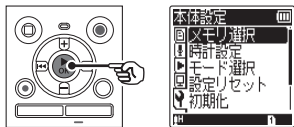
- 6 ▶ OK ボタンを押して設定を完了する

- 7 停止 (■) ボタンを押してメニュー画面を終了する



a 記録メディア

- 3 ▶ OK ボタンを押す



・カーソルが設定項目へ移動します。

- 4 ▶ OK ボタンを押す

使用する電池を設定する [電池設定]

現在使用している電池に合わせて設定してください。

V-863のみ

4

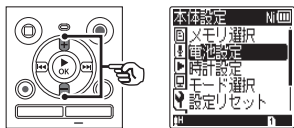
本体メニュー
[本体設定]

- 1 停止中にメニューボタンを押す

- 2 +または-ボタンを押して
[本体設定] タブを選ぶ

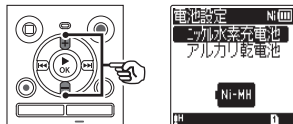
- 3 ▶OK ボタンを押す
・カーソルが設定項目へ移動します。

- 4 +または-ボタンを押して
[電池設定] を選ぶ



- 5 ▶OK ボタンを押す

- 6 +または-ボタンを押して
設定を変更する



[ニッケル水素充電電池] :

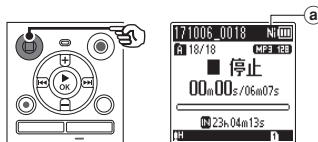
オリンパス製ニッケル水素充電電池 (BR404) をご使用の場合にお選びください。

[アルカリ乾電池] :

アルカリ乾電池をご使用の場合にお選びください。

- 7 ▶OK ボタンを押して設定を完了する

- 8 停止 (■) ボタンを押して
メニュー画面を終了する



a) 使用中の電池の種類

日付・時刻を合わせる [時計設定]

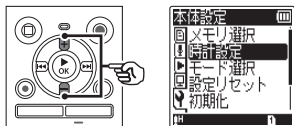
日付と日時を設定しておくで、いつ録音したかファイルごとの情報がメニュー機能の【プロパティ】で確認出来ます (P.74)。

1 停止中にメニューボタンを押す

2 +または-ボタンを押して [本体設定] タブを選ぶ

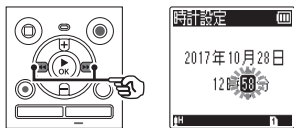
3 ▶OK ボタンを押す
・カーソルが設定項目へ移動します。

4 +または-ボタンを押して [時計設定] を選ぶ

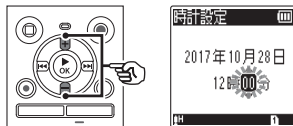


5 ▶OK ボタンを押す

6 ▶▶または◀◀ ボタンを押して設定項目を選ぶ



7 +または-ボタンを押して数字を変更する



- ・他の項目を変更する場合は、▶▶または◀◀ボタンで点滅を移動し、+または-ボタンで数字を変更します。

ヒント

- ・年、月、日の設定中、フォルダ/インデックスボタンを押すたびに表示の順序が切り替わります。

例：2017年10月28日の場合

2017年10月28日
(初期値：年月日)

↓
10月28日2017年

↓
28日10月2017年

8 ▶OK ボタンを押して設定を完了する

日付・時刻を合わせる [時計設定]

- 9 停止 (■) ボタンを押して
メニュー画面を終了する

ご注意

- 電池を交換すると、自動的に [時計設定] 画面が表示されます。

V-863 のみ：

- ニッケル水素充電電池 (BR404) をお使いの場合は、電池が消耗すると [時計設定] 画面が表示される場合があります。

モードを選択する [モード選択]

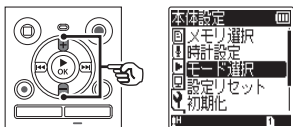
通常のノーマルモードとよく使う機能をまとめたシンプルモードが選べます。
シンプルモードでは表示文字が大きく見やすくなります。
シンプルモードで使用できる機能はメニュー一覧をご覧ください (P.66)。

1 停止中にメニューボタンを押す

2 + または - ボタンを押して [本体設定] タブを選ぶ

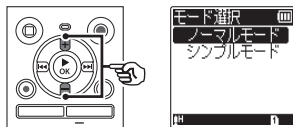
3 ▶ OK ボタンを押す
・カーソルが設定項目へ移動します。

4 + または - ボタンを押して [モード選択] を選ぶ



5 ▶ OK ボタンを押す

6 + または - ボタンを押して設定を変更する



[ノーマルモード]:

すべての機能が使用できる通常のモードです。

[シンプルモード]:

よく使う機能をまとめたモードです。
表示文字が大きく見やすくなります。

7 ▶ OK ボタンを押して設定を完了する

8 停止 (■) ボタンを押してメニュー画面を終了する

設定をリセットする [設定リセット]

各種設定を初期（工場出荷時）に戻します。時計設定やファイル番号はそのまま保持します。

4

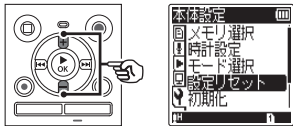
本体メニュー「本体設定」

- 1 停止中にメニューボタンを押す

- 2 + または - ボタンを押して [本体設定] タブを選ぶ

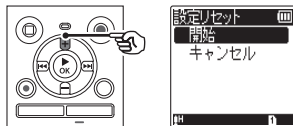
- 3 ▶OK ボタンを押す
・カーソルが設定項目へ移動します。

- 4 + または - ボタンを押して [設定リセット] を選ぶ



- 5 ▶OK ボタンを押す

- 6 + ボタンを押して [開始] を選ぶ



- 7 ▶OK ボタンを押す
・ [設定をリセットしました] と表示されたら終了です。

- 8 停止 (■) ボタンを押してメニュー画面を終了する

ヒント

- ・ 設定リセット後の初期値は、**[メニューの一覧]** をご覧ください (※ P.61 ~ P.66)。

記録メディアを初期化する [初期化]

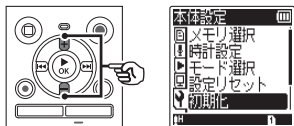
初期化すると記録されているファイルはすべて消去されます。大切なファイルはパソコンに転送してから初期化してください。

1 停止中にメニューボタンを押す

2 + または - ボタンを押して [本体設定] タブを選ぶ

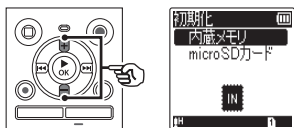
3 ▶OK ボタンを押す
・カーソルが設定項目へ移動します。

4 + または - ボタンを押して [初期化] を選ぶ



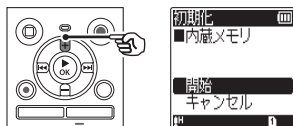
5 ▶OK ボタンを押す

6 + または - ボタンを押して初期化する記録メディアを選ぶ

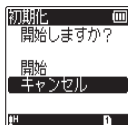
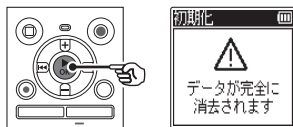


7 ▶OK ボタンを押す

8 + ボタンを押して [開始] を選ぶ

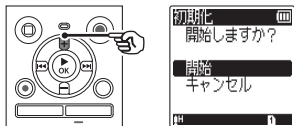


9 ▶OK ボタンを押す

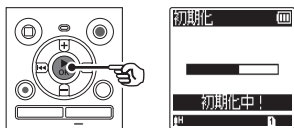


記録メディアを初期化する [初期化]

10 + ボタンを押してもう一度
[開始] を選ぶ



11 ▶ OK ボタンを押す



- ディスプレイが [初期化中!] に変わり、初期化を開始します。
[初期化完了] と表示されたら終了です。

ヒント

- 各種機能の設定を初期設定に戻す場合は、[設定リセット] を行ってください (P.108)。

ご注意

- 本機をパソコンから 初期化することは絶対にしないでください。
- 初期化 をすると、ファイルロックをかけたファイルや読み取り専用ファイルを含む既存のデータはすべて消去されます。
- 本機に microSD カードを入れた場合、初期化する記録メディアが [内蔵メモリ] または [microSD カード] のどちらなのかを間違えないよう、必ず確認してください (P.103)。
- 初期化中に電池が切れることのないように充電するか、新しい電池に交換してください。また、初期化が完了するまで数十秒かかる場合があります。初期化中には次のような操作は絶対にしないでください。データが破損するおそれがあります。
 - 初期化中に電池を取り外す。
 - 初期化する記録メディアが [microSD カード] の場合、初期化中に microSD カードを取り外す。
- 初期化や消去 (P.55) を行っても、ファイルの管理情報が更新されるだけで内蔵メモリや microSD カードに記録したデータは完全には消去されません。譲渡または廃棄の際には、初期化したあと、残り時間がなくなるまで無音録音するなどして、個人情報の流出を防いでください。

記録メディアの情報を確認する [メモリ情報]

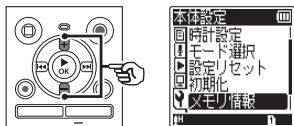
メニュー画面から記録メディアの記録可能残量や容量を表示できます。

1 停止中にメニューボタンを押す

2 +または-ボタンを押して
[本体設定] タブを選ぶ

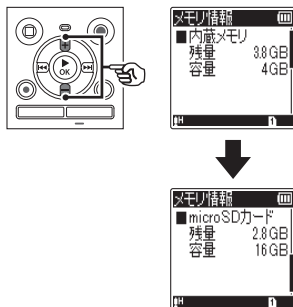
3 ▶OK ボタンを押す
・カーソルが設定項目へ移動します。

4 +または-ボタンを押して
[メモリ情報] を選ぶ



5 ▶OK ボタンを押す

6 +または-ボタンを押して
画面を切り替える



7 情報を確認したら、▶OK ボタンを押して [メモリ情報] 画面から出る

8 停止 (■) ボタンを押して
メニュー画面を終了する

ご注意

- メモリ容量の一部を管理領域として使用しているため、実際に使用できる容量は少なくなります。

本機の情報を確認する [システム情報]

メニュー画面から本機の情報を確認できます。シリアル番号は巻末の保証書に書き写してください。

4

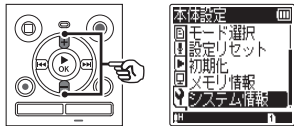
本体メニュー [本体設定]

- 1 停止中にメニューボタンを押す

- 2 +または-ボタンを押して [本体設定] タブを選ぶ

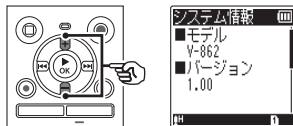
- 3 ▶OK ボタンを押す
・カーソルが設定項目へ移動します。

- 4 +または-ボタンを押して [システム情報] を選ぶ



- 5 ▶OK ボタンを押す

- 6 +または-ボタンを押して画面を切り替える



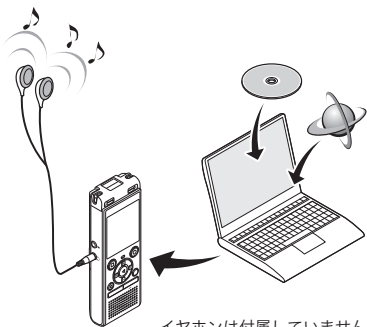
- 7 情報を確認したら、▶OK ボタンを押して [システム情報] 画面から出る

- 8 停止 (■) ボタンを押してメニュー画面を終了する

パソコンでの活用について

本機はパソコンと接続することで次のようなことができます。

- ・ パソコンに取り込んだ MP3 形式の語学コンテンツや音楽ファイルを、本機でお楽しみいただけます。
- ・ 本機はパソコンの外部メモリとして、パソコンからのデータ保存や読み出しにもご活用いただけます。



イヤホンは付属していません。

パソコンの動作環境

本機で録音したファイルを USB 接続でパソコンに保存する際の動作環境です。

Windows

OS (オペレーティングシステム) :

Microsoft Windows 7 / Windows 8 - 8.1 / Windows 10 標準インストール

対応パソコン:

1 つ以上空きのある USB ポートを装備した Windows パソコン

- ・ 動作環境を満たしていても、アップグレードしたもの、マルチブート環境、自作パソコンとその互換機については動作保証外とさせていただきます。

Macintosh



OS (オペレーティングシステム) :

MacOS-X 10.5 -10.12 標準インストール

対応パソコン:

1 つ以上空きのある USB ポートを装備した Apple Macintosh シリーズ

本機をパソコンに接続して扱う場合の注意事項

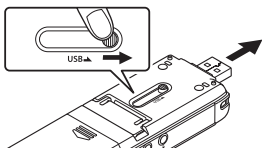
- 本機からファイルをダウンロードしたり本機にファイルをアップロードする場合、パソコンから通信中の画面が消えても、本機の LED 表示ランプが点滅中はデータを転送中です。決して USB 接続を外さないでください。また、USB 接続を外す場合、必ず  P.116 に記載の方法で行ってください。ドライブを停止してから外しないと、正常にデータが転送されないことがあります。
- パソコンでは本機ドライブを初期化（フォーマット）しないでください。パソコンで初期化した場合、正しく初期化されません。初期化は、本機の **[初期化]** メニューから行ってください（ P.109）。
- Windows または Macintosh のファイル管理画面から、本機に保存されているフォルダやファイルに対して移動や名前の変更などの操作を行うと、ファイルの順番が変わったり、ファイルを認識できなくなることがあります。
- パソコン上の操作で本機ドライブの属性をリードオンリー（読み取り専用）に設定しても、本機ではデータの読み書きができますのでご注意ください。
- ノイズにより周辺電子機器に影響をおよぼすことがありますので、パソコンに接続する場合、外部マイクやイヤホンを取り外してください。

パソコンに接続する/取り外す

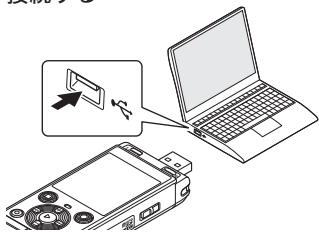
パソコンに接続する

1 パソコンを起動する

2 USB 端子スライドレバーを押しながら矢印の方向へスライドさせる



3 本機が停止していることを確認し、パソコンの USB ポートに接続する



- USB 接続中は、本機のディスプレイに**[PC と接続中]**と表示されます。

V-863 のみ

ニッケル水素充電電池をご使用の場合：

充電する場合は、▶OK ボタンを押してください。充電しない場合は、▶OK 以外のボタンを押してください。

ヒント

- Windows の場合、**[コンピュータ]**を開くと、製品名のドライブ名で認識されます。microSD カードが入っていると、**[リムーバブルディスク]**として使用できます。
- Macintosh の場合、デスクトップ上に製品名のドライブ名で認識されません。microSD カードが入っている場合は **[NO NAME]** と表示されます。
- パソコンの USB ポートについては、ご使用のパソコンの取扱説明書をご覧ください。
- 必要に応じて、別売の USB 延長ケーブル (KP19) をご使用ください。

ご注意

- USB 端子は奥まで確実に差し込んでください。正しく接続されていない場合、正常に動作しません。
- USB ハブを経由して本機を接続すると、動作が不安定になることがあります。この場合、USB ハブを使用しないでください。
- USB 延長ケーブルは必ず専用ケーブル (KP19) をご使用ください。他社製品をご使用の場合、動作の保証はできません。またこの専用ケーブルを他社製品に接続することも絶対におやめください。

パソコンから取り外す

Windows

- 1 画面右下のタスクバーの [] をクリックして、**[DIGITAL VOICE RECORDER の取り出し]** をクリックする



- ご使用のパソコンにより、ドライブのアルファベット表記が異なります。
- ハードウェアの取り外しウィンドウが表示されたら、ウィンドウを閉じてください。

- 2 本機の LED 表示ランプが点滅していないことを確認し、本機をパソコンから取り外す

ヒント

- 充電が途中の状態でも本機を取り外して使用できます (V-863 のみ)。

ご注意

- LED 表示ランプが点滅中は、絶対に USB 接続を取り外さないでください。データが破損するおそれがあります。

Macintosh

- 1 デスクトップに表示されている本機のリムーバブルアイコンを、ドラッグ&ドロップでゴミ箱に移動する

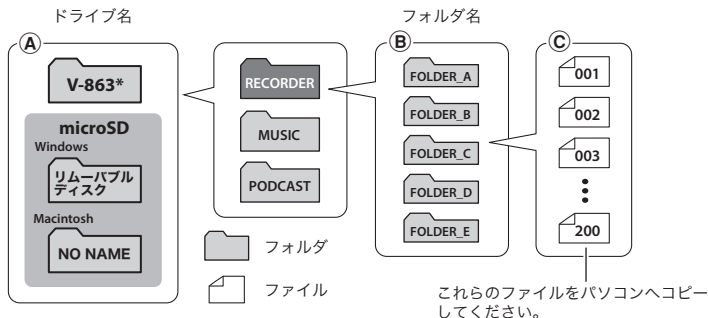


- 2 本機の LED 表示ランプが点滅していないことを確認し、本機をパソコンから取り外す

ファイルを転送する

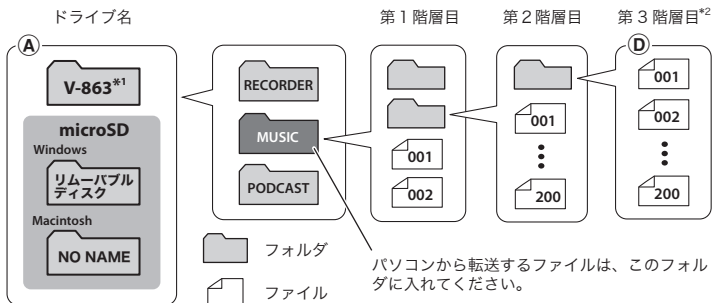
本機とパソコンを接続すると、本機データをパソコンへ転送したり、パソコンに保存されたデータを外部メモリとして本機に保存できます。5つのフォルダは、パソコン上でそれぞれ [FOLDER_A]、[FOLDER_B]、[FOLDER_C]、[FOLDER_D]、[FOLDER_E] という名前で表示され (図 ⑧)、その中に録音した音声ファイルが保存されています (図 ⑨)。

本機で録音したファイルをパソコンに転送する



* 製品名のドライブ名で認識されます。

音楽ファイルや語学学習ファイルを転送する

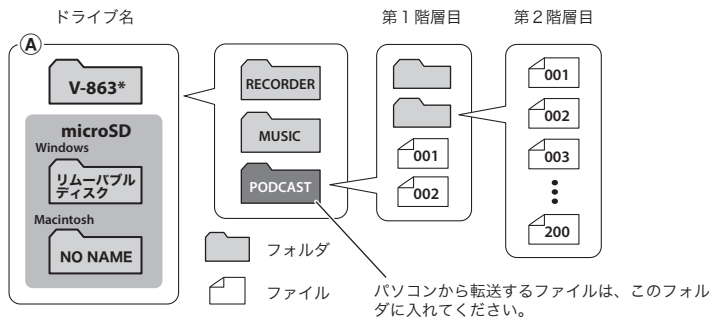


*1 製品名のドライブ名で認識されます。

*2 本機では[ミュージック]フォルダの3階層目(図 ⑩)のフォルダは認識できません。

ファイルを転送する

ポッドキャストファイルを転送する



* 製品名のドライブ名で認識されます。

Windows

- 1 本機をパソコンに接続する (☞ P.115)
- 2 エクスプローラを起動する
・ [コンピュータ] を開くと、製品名のドライブ名で認識されます。
- 3 製品名のフォルダをクリックする (☒ ①)
- 4 データをコピーする
- 5 本機をパソコンから取り外す (☞ P.116)

ファイルを転送する

Macintosh

- 1 本機をパソコンに接続する (P.115)
 - Mac OS に本機を接続すると、デスクトップ上に製品名のドライブ名で認識されます。
- 2 デスクトップの製品名のリムーバブルアイコンをダブルクリックする (図 A)
- 3 データをコピーする
- 4 本機をパソコンから取り外す (P.116)

ご注意

- LED 表示ランプが点滅中は、絶対に USB 接続を取り外さないでください。データが破損するおそれがあります。

パソコンの外部メモリとして使う

本機とパソコンを接続すれば、本機のデータをパソコンへ転送したり、パソコンに保存されたデータを本機に保存できます。

Windows

- 1 本機をパソコンに接続する (☞ P.115)
- 2 エクスプローラを起動する
・ [コンピュータ] を開くと、製品名のドライブ名で認識されます。
- 3 製品名のフォルダをクリックする (図 A)
- 4 データをコピーする
- 5 本機をパソコンから取り外す (☞ P.116)

Macintosh

- 1 本機をパソコンに接続する (☞ P.115)
・ Mac OS に本機を接続すると、デスクトップ上に製品名のドライブ名で認識されます。
- 2 デスクトップの製品名のリムーバブルアイコンをダブルクリックする
- 3 データをコピーする
- 4 本機をパソコンから取り外す (☞ P.116)

ご注意

- ・ LED 表示ランプが点滅中は、絶対に USB 接続を取り外さないでください。データが破損するおそれがあります。

活用のヒント

本機を上手にお使いいただくために、便利な使いかたをご紹介します。

失敗のない録音をするために試し録りをしてください。

試し録りについて

録音の対象となる人との距離および音量、空間の広さ、空調機の付近での使用など…。「音の品質」は録音環境によって変わります。事前に雑音（ノイズ）を減らして希望通りの音で録音できるかを確認するため、試し録りはとても有効です。

エアコン、プロジェクター、パソコンなどの動作音、机上のモノを動かしたときの音や振動、机の脚から伝わる足音などの雑音（ノイズ）は、聞こえる音よりも大きく録音されてしまうことがあります。

録音されるノイズを軽減するには

- 録音中に本機に触れると、タッチノイズとして録音されてしまう場合があります。録音が終わるまでは、なるべく本機に触れないようにしてください。
- 空調の通風口やパソコンなど、ノイズの原因となっている対象から本機を遠ざけてください。また【ローカットフィルタ】機能を使用すると、ノイズを軽減して録音できます (P.80)。
- 状況に応じた【録音レベル】を選んでください。周囲の音がノイズとなって聞きづらい場合は、【低 (メモ)】でお試しください (P.76)。
- 状況に合わせた【録音シーン】を選ぶと、録音モードや内蔵マイクの感度など、録音に必要な項目を一括でおすすめの設定に切り替えられます (P.40)。



■ 電池を長持ちさせたい

- ☞ 使用しないときはこまめに電源を切ってください (☞ P.30)。
- ☞ 再生時は内蔵スピーカーではなく市販のイヤホンをお使いください (☞ P.49)。
- ☞ 以下の機能を使用すると電池の持続時間に影響をおよぼします。
 - ・[ノイズキャンセル] (☞ P.87)
 - ・録音モニター (☞ P.39)
 - ・再生スピードの変更 (☞ P.50)
 - ・[ボイスバランサー] (☞ P.91)

■ メモリを節約したい

- ☞ [VCVA] 機能 (☞ P.81) をお使いください。
録音中に設定した音量以下になると録音一時停止します。設定した音量以上になると自動的に録音を再開します。

■ 録音した内容が早い口調で聞き取れない 録音した内容を全部聞きたいが、時間を節約したい

- ☞ 再生スピードを変更してお使いください (☞ P.50)。
再生速度を通常の半分のスピードまで遅くしたり、2倍のスピードまで早くして聞けます。

■ 大事なポイントをあとでもう一度聞きたい

- ☞ インデックス (テンブ) マーク機能 (☞ P.54) をお使いください。
録音中や再生中にインデックス (テンブ) マークを付けておくと、あらためて再生したときに早送りや早戻し、頭出し機能を使ってインデックス (テンブ) マークを付けたポイントをすぐに探せます。

■ この部分より前または後ろは必要ないから消したい

- ☞ [ファイル分割] 機能 (☞ P.70) および [1件消去] 機能 (☞ P.55) をお使いください。
停止している位置でファイルを分割し、不要な方のファイルを消去します。メモリの節約にもなります。

■ 録音したファイルに雑音があり聞きにくい

- ☞ [ノイズキャンセル] 機能 (☞ P.87) をお使いください。
雑音を抑えて、よりクリアに再生します。

■ カセットテープに録音した音源を本機で録音したい

- ☞ [録音シーン] 機能の [ダビング (自動分割)] をお使いください (☞ P.40)。
録音の切れ目ごとにファイルを分けて録音します。

■ ダビング終了後、自動的に録音停止するようにしたい

- ☞ [録音シーン] 機能の [ダビング (タイマー)] をお使いください (☞ P.40)。
1つのファイルに録音し続け、設定時間になると自動的に録音が停止します。

■ 動作がいつもと違っている

- ☞ [設定リセット] 機能 (☞ P.108) をお試しください。
各種設定を初期 (工場出荷時) に戻します。時計設定や録音したファイルはそのまま保持します。

警告表示一覧

表示	詳細	解決方法
電池残量がありません (Battery low)	電池残量がない。	新しい電池に交換するか、充電してください (☞ P.23、P.25)。
ファイルロック中 消去できません (File locked)	ファイルロックがかかっている ファイルを消去しようとした。	ファイルロックを解除してください (☞ P.67)。
これ以上記録できません (No more can be set)	ファイル内でインデックスマークを最大数 (99) まで使用している。	必要のないインデックスマークを消去してください (☞ P.54、P.55)。
	ファイル内でテンプレートを最大数 (99) まで使用している。	必要のないテンプレートを消去してください (☞ P.54、P.55)。
ファイル件数がいっぱいです (Folder full)	フォルダ内のファイル件数が最大数 (200) になっている。	必要のないファイルを消去してください (☞ P.55)。
メモリに異常があります (Memory error)	内蔵メモリに異常がある。	当社カスタマーサポートセンターにご連絡ください (☞ 裏表紙)。
microSD カードに 異常があります (Card error)	microSD カードが正しく認識 されていない。	もう一度 microSD カードの抜き差しを行ってください (☞ P.27、P.28)。
メモリがいっぱいです (Memory full)	メモリ残量がない。	必要のないファイルを消去してください (☞ P.55)。
ファイルがありません (No file)	フォルダ内にファイルがない。	他のフォルダを選び直してください (☞ P.33)。
初期化に失敗しました (Format error)	初期化に問題があった。	メモリをもう一度初期化し直してください (☞ P.109)。
管理ファイルが作成できません PC に接続して不要なファイル を消去してください (Can't create the system file. Connect to PC and delete unnecessary file)	メモリ残量がないため、管理用の ファイルが作成できない。	パソコンに接続し、不要なファイルを消去してください。

警告表示一覧

表示	詳細	解決方法
このファイルは再生できません (Cannot play this file)	未対応フォーマットです。	本機で再生可能なファイルを選び直してください (P.49)。
ファイルを選んでください (Select a file)	ファイルが選択されていない。	ファイルを選んでから操作してください (P.33)。
分割できないファイルです (This file can't be divided.)	本機で録音した MP3 形式以外のファイルを分割しようとしている。	ファイルを選び直してください (P.33)。
音源をマイクジャックに 接続してください (Connect an audio cable to the mic jack)	ダビング時に他の機器が本機に接続されていない。	他の機器との接続は、別売の接続コード (KA333) を使って本機のマイクジャックに接続してください (P.43)。

6

警告表示一覧

故障かな?と思ったら

症状	考えられる原因	対処方法
ディスプレイに何も表示されない	電池が正しく入っていない。	電池の ⊕ と ⊖ を確かめてください (☞ P.4)。
	電池残量がない。	新しい電池に交換するか、充電してください (☞ P.23、P.25)。
	電源が切れている。	電源を入れてください (☞ P.6)。
操作できない	電池残量がない。	新しい電池に交換するか、充電してください (☞ P.23、P.25)。
	電源が切れている。	電源を入れてください (☞ P.6)。
	ホールドがかかっている。	ホールドを解除してください (☞ P.29)。
録音できない	メモリ残量がない。	必要のないファイルを消去してください (☞ P.55)。
	ファイル件数が最大記録件数になっている。	他のフォルダを選び直してください (☞ P.33)。
再生音が聞こえない	イヤホンジャックにイヤホンを接続している。	内蔵スピーカから出力する場合、イヤホンを取り外してください。
	音量が [00] になっている。	音量を調節してください (☞ P.46)。
録音のレベルが小さい	録音レベルが低い。	[録音レベル] の設定を [高 (会議)] にしてもう一度録音してください (☞ P.76)。
	録音対象との距離が離れている。	録音対象に本機を近づけてください。
	接続した外部機器の出力レベルの過少が考えられます。	外部機器の出力レベルを調整してください。
音声ファイルがステレオ録音されていない	接続した外部マイクがモノラルである。	外部モノラルマイクを接続して録音すると、L チャンネルのみに音声録音されます。
	[録音モード] の設定がモノラル録音形式である。	[録音モード] の設定を [MP3 128 kbps] にしてください (☞ P.78)。

故障かな？と思ったら

症状	考えられる原因	対処方法
音声ファイルがない	録音したフォルダではない。	他のフォルダを選び直してください (※ P.33)。
再生時に雑音が入る	録音時に本機をこすったりした。	録音中はできるだけ本機に触れないようにしてください。
	録音時、再生時に本機を携帯電話や蛍光灯近くに置いている。	操作時に本機の位置を変えてください。
ファイルが消去できない	ファイルロックがかかっている。	ファイルロックを解除してください (※ P.67)。
	読み取り専用ファイルである。	ファイルロックを解除するかパソコンで読み取り専用の設定を解除してください。
録音モニターでノイズが聞こえる	ハウリングをおこしている。	アンプ内蔵スピーカなどを接続している場合、録音中にハウリングをおこすおそれがあります。録音モニターはイヤホンをご使用になることをおすすめします。 イヤホンとマイクの距離を離す、マイクをイヤホンの方へ向けられないなど調整をしてください。
インデックスマーク・テンプレマークが付けられない	マーク件数が最大 (99 件) になっている。	必要のないマークは消去してください (※ P.54、P.55)。
	ファイルロックがかかっている。	ファイルロックを解除してください (※ P.67)。
	読み取り専用ファイルである。	ファイルロックを解除するかパソコンで読み取り専用の設定を解除してください。
充電ができない	V-863 のみ [電池設定] の設定が [アルカリ乾電池] になっている。または指定以外の充電電池を充電しようとしている。	指定の充電電池 (BR404) をご使用の上、[電池設定] の設定を [ニッケル水素充電電池] にしてください。また、充電電池の推奨温度範囲外でのご使用はおやめください (※ P.25、P.104)
	▶OK ボタンを押していない。	USB 接続したときに表示される確認画面に従い、▶OK ボタンを押してください (※ P.23)。

故障かな？と思ったら

症状	考えられる原因	対処方法
設定したいメニュー項目が表示されない	[モード選択] の設定が [シンブルモード] になっている。	[録音シーン] [スキップ間隔] [メモリ選択] [時計設定] [操作音] [モード選択] [言語選択] 以外のメニューを設定したい場合は、[モード選択] の設定を [ノーマルモード] にしてください (※ P.107)。
再生スピードが速い (遅い) ように感じる	再生スピードが変更されている。	再生スピードの設定を [1.0 倍速] にしてください (※ P.50)

お手入れ

- 本機が汚れたときは、柔らかい布でやさしく拭いてください。汚れがひどい場合は、うすめた低刺激のせっけん水に布を浸して、固く絞ってから、汚れを拭き取り、そのあと、乾いた布でよく拭いてください。
- ディスプレイが汚れたときは、柔らかい布でやさしく拭いてください。

ご注意

- ベンジンやアルコールなどの強い溶剤や化学雑巾は使わないでください。

6

その他

アクセサリ（別売）

オリンパス製 IC レコーダー専用のアクセサリは、当社 Web サイトの「オンラインショップ」で直接ご購入いただけます。

単 4 形ニッケル水素充電電池：BR404

持続性に優れた高性能充電電池です。

ステレオマイクロホン：ME51SW

大口径マイク内蔵で、高感度のステレオ録音が可能です。

卓上ズームマイクロホン（単一指向性）：ME34

会議や講義などで、離れたところからの音を録音する場合に適しています。マイクスタンドと一体化していて、携帯時は小さく折りたためます。

バウンダリーマイクロホン：ME33

左右それぞれに最大 3 台ずつ接続可能な会議録音用マイクです。

カスケード接続すれば左右合わせて最大約 12m まで延長できますので、広い範囲の音を録音できます。

2 チャンネルマイクロホン（全指向性）：ME30W

広い会議室などの録音に適したローノイズ設計の全指向性マイクで、左右それぞれのマイクを最大約 5m 離して録音できます。

テレホンピックアップマイクロホン：TP8

イヤホン型マイクを耳に入れてそのまま通話できます。電話の声や会話を明瞭に録音できます。

USB 接続ケーブル：KP19

コネクティングコード：KA333

両端がステレオミニプラグ（φ 3.5）の抵抗入り接続コードです。イヤホン出力をマイク入力に接続して録音する場合に使用します。モノラルミニプラグ（φ 3.5）、またはモノラルミニミニプラグ（φ 2.5）への変換プラグアダプタ（PA331/PA231）も同梱しています。

ユーティリティソフト：

Olympus Sonority Plus

Voice-Trek で録音した音声パソコン上で再生したり、ファイル管理することができます。またポッドキャストにも対応しています。

ソフトケース：CS131

商標について

- 本書の内容は将来予告なしに変更する場合があります。商品名、型番など、最新の情報についてはカスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。
- 取扱説明書で使用しているディスプレイや本機のイラストは実際の製品とは異なる場合があります。また、本書の内容については、万全を期して作成しておりますが、万一ご不審な点、誤り、記載もれなど、お気づきの点がございましたらカスタマーサポートセンターまでご連絡ください。
- 本書の著作権はオリンパス株式会社が所有しております。本書の内容の一部または全部を無断で複写することは、個人としてご利用になる場合を除き、禁止します。また、無断転載は固くお断りします。
- 本製品の不適当な使用による万一の損害や、逸失利益、または第三者からのいかなる請求に関しても、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。

商標および登録商標について

- ボイストレック (Voice-Trek) はオリンパス株式会社の登録商標です。
- IBM、PC/AT は International Business Machines Corporation の商標または登録商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Media は Microsoft Corporation の登録商標です。
- microSD、microSDHC は SD Card Association の商標です。
- Macintosh、iTunes は米国アップル社の商標です。
- MP3 オーディオ符号化技術は Fraunhofer IIS 社と Thomson 社からのライセンスに基づき製品化されています。

その他の本説明書に記載されているすべてのブランド名または商品名は、それらの所有者の商標または登録商標です。



電波障害自主規制について

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

接続ケーブル、AC アダプタ (AC アダプタ対応機種のみ) は、必ず当製品指定のものをお使いください。指定品以外では、VCCI 協会の技術基準を超えることが考えられます。

安全に正しくお使いいただくために

ご使用前にこの内容をお読みのうえ、正しく安全にお使いください。また、お読みになったあとは、いつでも見られるように必ずお手元に保管してください。

安全に関する重要事項

- 安全に関する重要事項は、以下の表示と文章で示されます。あなたと他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぐために、必ず守ってください。
- 表示の意味は、次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

危険

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う差し迫った危険の発生が想定される内容を示しています。

警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

本機について

警告

- 可燃性ガス、爆発性ガスなどが大気中に存在するおそれのある場所では使用しないでください。
引火、爆発の原因となります。
- 分解、修理、改造をしないでください。
感電、けがをすることがあります。
- 車両（自転車、バイク、車など）の運転をしながら操作しないでください。
交通事故などの原因となります。
- 本機を幼児、子供の手の届く範囲に放置しないでください。
幼児、子供の近くで使用するときは細心の注意を払い、不用意に本機から離れないでください。幼児、子供には警告・注意の内容の理解ができず、加えて以下のような事故のおそれがあります。例えば
 - － 誤ってイヤホンコードを首に巻き付け、窒息する。
 - － 操作を誤りケガや感電事故などを起こす。
- 水に落としたり、内部に水や金属、燃えやすい異物が入ったら、
 - ① 速やかに電池を抜いてください。
 - ② お買い上げ店またはオリンパスサービスステーションへ修理をご依頼ください。そのまま使用すると火災や感電の危険があります。

- 航空機内や病院など使用に制限のある場所では使用をおやめになるか、その場所の指示に従ってください。

- 異臭、異常音、煙が出ていたりするなどの異常を感じたときはご使用を中止してください。

火災ややけどの原因となることがあります。やけどに注意しながらすぐに電池を取り出し、販売店、当社修理センター、またはサービスステーションにご連絡ください（電池を取り外す際は、素手で電池を触らないでください。また可燃物のそばを避け、屋外で行ってください）。

- USB 電源は改造したものや自動車のシガレットライターの差し込み口は絶対に使用しないでください。

発熱、発火、感電、故障の原因となります。

- microSD / microSDHC カード以外は、絶対に本機に入れしないでください。

その他のカードを誤って入れた場合は、無理に取り出さず、当社修理センター、またはサービスステーションにご相談ください。

- 本機をストラップで提げて持ち運んでいるときは、他のものにつっかからないように注意してください。

注意

- 操作前から、音量を上げないでください。

聴覚障害や聴力低下を引き起こすおそれがあります。

電池について

危険

- 火気のある場所に電池を置かないでください。

- 火の中への投入、加熱、⊕ と ⊖ 極間のショート、分解をしないでください。

火災、破裂、発火、発熱の原因となります。

- 直接ハンダ付けしたり、変形・改造・分解をしないでください。

- ⊕ と ⊖ 端子を接続しないでください。

発熱、感電、火災の原因となります。

- 電池を持ち運んだり、保管する際は必ずケースに入れて、端子部分を保護してください。キーホルダーなどの貴金属と一緒に、携帯・保管しないでください。

発熱、感電、火災の原因となります。

- 電源コンセントや自動車のシガレットライターの差し込み口などに直接接続しないでください。

- 直射日光のあたる場所、炎天下の車内、ストーブのそばなど高温になる場所で使用・放置をしないでください。

液漏れ、発熱、破裂などにより、火災、やけど、けがの原因となります。

⚠ 警告

- 濡れた手で触ったり持ったりしないでください。

感電、故障の原因となります。

- 外装にキズや破損がある電池は使用しないでください。

破裂、発熱の原因となります。

- 電池の極性(⊕と⊖)を逆に入れないでください。

液漏れ、発熱、発火、破裂するおそれがあります。

- 外装シール(絶縁被覆)の破れた電池を使わないでください。

- 長期間使用しないときは、必ず電池を取り出してください。

- 使用済みの電池は接点部分にテープを貼って絶縁し、一般廃棄物として各自治体の指示に従って廃棄してください。

- 使えなくなった電池は速やかに本機から取り出してください。液漏れのおそれがあります。

- 電池の液が目に入った場合は失明のおそれがありますので、こすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い流したあと、直ちに医師の診断を受けてください。

- アルカリ乾電池、リチウム乾電池などを充電しないでください。

- 電池は幼児・子供の手の届くところに置かないでください。

幼児・子供が電池を飲み込むおそれがあります。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

- 水や海水などにつけたり、端子部を濡らさないでください。

- 液漏れ、変色、変形、その他の異常が発生した場合は、使用を中止してください。

- 所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。

- 電池の液が皮膚・衣類へ付着すると、皮膚に傷害を起こすおそれがありますので、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。

⚠ 注意

- 電池に強い衝撃を与えたり、投げたりしないでください。

- 充電機をはじめて使用する場合、また長時間使用していなかった場合は、ご使用前に必ず充電してください。

- 充電機には寿命があります。指定する条件で充電しても使用時間が短くなったときは寿命と判断し、新しい充電機と取り替えてください。

充電式電池の廃棄について

- 使用済みの充電式電池は貴重な資源です。充電式電池を捨てる際には、⓪とⓧ端子をテープなどで絶縁してから最寄りの充電式電池リサイクル協力店にお持ちください。



詳しくは一般社団法人 JBRC ホームページ (<http://www.jbrc.com>) をご覧ください。

使用上のご注意

- 直射日光下の車の中や夏の海岸など、高温・多湿の場所に放置しないでください。
- 湿気やほこりの多い場所に保管しないでください。
- 水気がついたら、すぐに乾いた布で水分を拭き取ってください。特に塩分は禁物です。
- テレビ・冷蔵庫などの電気製品の上や近くに置かないでください。
- 砂や泥をかぶらないようにご注意ください。修理不可能なほどの故障になることがあります。
- 強い振動やショックを与えないでください。
- 水気の多い場所で使用しないでください。
- 磁気カード（銀行のキャッシュカードなど）をスピーカやイヤホンの近くに置くと、磁気カードに格納されたデータに異常が生じることがあります。
- 録音中や再生中に本機を電灯線・蛍光灯・携帯電話などに近づけないでください。ノイズが入ることがあります。

<データ消失に関する注意事項>

- 内蔵メモリや microSD カードへの記録内容は、誤操作、機器の故障、修理などで破壊されたり消えることがあります。
- 内蔵メモリや microSD カードは長時間の保存や繰り返し使用するうちに書き込みや読み出し、消去等ができなくなることがあります。
- 大切な記録内容はパソコンのハードディスクや他の記録メディアにバックアップし、保存されることをおすすめします。
- 記録されたデータの破壊・消失による損害および逸失利益などに関しては、その内容や原因に関わらず、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。

<録音したファイルに関する注意事項>

- 本機やパソコンの故障により、録音したファイルが消去されたり再生不能となった場合でも、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。
- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用することはできません。

<本機や microSD カードの廃棄に関する注意事項>

- 初期化 (P.109) や消去 (P.55) を行っても、ファイルの管理情報が更新されるだけで内蔵メモリや microSD カードに記録したデータは完全には消去されません。譲渡または廃棄の際には、初期化したあと、残り時間がなくなるまで無音録音するなどして、個人情報流出を防いでください。

主な仕様

一般事項

■ 記録形式：

MP3 形式

■ サンプリング周波数：

128 kbps	44.1 kHz
64 kbps mono	44.1 kHz
8 kbps mono	11.025 kHz

■ ヘッドホン最大出力：

3 mW + 3 mW (16 Ω負荷時)

■ 記録メディア*：

内蔵型 NAND FLASH メモリ

V-863：8 GB

V-862：4 GB

microSD カード

(2 GB ~ 32 GB に対応)

* メモリ容量の一部を管理領域として使用しているため、実際に使用できる容量は少なくなります。

■ スピーカ：

φ 20 mm 丸型ダイナミックスピーカ
内蔵

■ マイクジャック：

φ 3.5 mm インピーダンス 2 k Ω

■ イヤホンジャック：

φ 3.5 mm インピーダンス 8 Ω以上

■ スピーカ実用最大出力：

250 mW (スピーカ 8 Ω)

■ 電源：

規定電圧：3 V

電池：単 4 形乾電池 (LR03) 2 本

またはニッケル水素充電電池 2 本

(本体内充電はオリンパス製 BR404 を使用のこと)

■ 外形寸法：

111.5 mm × 39 mm × 18 mm
(最大突起部含まず)

■ 質量：

77 g (電池含む)

■ 使用温度：

0 ~ 42°C

■ 同梱品：

V-863：本体/キャリングケース/単
4 形ニッケル水素充電電池 × 2 /取扱説
明書 (保証書付)

V-862：本体/単 4 形乾電池 × 2 /
取扱説明書 (保証書付)

周波数特性

■ マイクジャック録音時：

128 kbps	40 Hz ~ 17 kHz
64 kbps mono	40 Hz ~ 15 kHz
8 kbps mono	40 Hz ~ 3.5 kHz

■ 内蔵マイク録音時：

70 Hz ~ 17 kHz (但し、周波数特性
の上限値は各録音モードによる)

■ 再生時：

30 Hz ~ 20 kHz (但し、周波数特性
の上限値・下限値は各録音フォーマット
による)

電池持続時間

以下の値はあくまでめやすです。

■ アルカリ乾電池：

録音モード (MP3 形式)	内蔵マイク録音時	内蔵スピーカ再生時	イヤホン再生時
128 kbps	約 41 時間	約 15 時間	約 70 時間
64 kbps mono	約 48 時間	約 15 時間	約 73 時間
8 kbps mono	約 110 時間	約 24 時間	約 90 時間

■ ニッケル水素充電電池：

録音モード (MP3 形式)	内蔵マイク録音時	内蔵スピーカ再生時	イヤホン再生時
128 kbps	約 30 時間	約 11 時間	約 49 時間
64 kbps mono	約 31 時間	約 11 時間	約 53 時間
8 kbps mono	約 74 時間	約 16 時間	約 64 時間

ご注意

- 電池持続時間は当社試験法によるものです (LED 表示ランプ：OFF)。使用電池、使用条件により大きく変わります (特にノイズキャンセル、ボイスバランサー、速度変更などの機能を使用した場合は電池持続時間に大きく影響します)。
- 繰り返し使用したニッケル水素充電電池では電池持続時間は短くなります。
- microSD カードご使用時は電池持続時間は短くなります。

録音時間

以下の値はあくまでめやすです。

記録メディア		録音モード (MP3 形式)		
		128 kbps	64 kbps mono	8 kbps mono
内蔵メモリ	V-863 (8 GB)	約 130 時間	約 260 時間	約 2080 時間
	V-862 (4 GB)	約 65 時間	約 131 時間	約 1040 時間
microSD カード	32 GB	約 530 時間	約 1060 時間	約 8480 時間
	16 GB	約 264 時間	約 525 時間	約 4230 時間
	8 GB	約 132 時間	約 264 時間	約 2100 時間

6

主な仕様

ご注意

- 小刻みに録音を繰り返したときは、録音可能時間がこれより短くなる場合があります（録音可能時間および録音時間表示はめやすとしてご使用ください）。
- ご使用の microSD カードにより空き容量に差が出ることもあるため、録音可能時間にも差が発生します。

1 ファイルあたりの最長録音時間

- 1 ファイルあたりの最大容量は約 4GB に制限されています。
- メモリ残量にかかわらず、1 ファイルあたりの最長録音時間は以下の値に制限されています。

録音モード (MP3 形式)	128 kbps	64 kbps mono	8 kbps mono
録音時間	約 74 時間 30 分	約 149 時間	約 1193 時間

本機の仕様および外観は性能改良などのため、予告なく変更する場合がありますのであらかじめご了承ください。

索引

記号

- ▶OK ボタン.....7, 12, 18, 23, 33, 50
- + ボタン.....7, 12, 18, 33
- ◀▶▶▶ ボタン.....8, 18, 33, 47, 48

アルファベット

A

- ABC リピート.....51

L

- LED.....100
- LED 表示ランプ.....11, 18, 100, 116

M

- microSD カード.....27, 103
- MP3.....49, 78

U

- USB 端子.....18, 23
- USB 端子カバー.....18
- USB 端子スライドレバー.....18, 23

かな

い

- イヤホンジャック.....18, 39, 49
- インデックスマーク.....54, 85
- インデックスレベル.....86

お

- オートインデックス.....85
- 音楽再生用フォルダ.....31
- 音楽ファイル.....49
- 音声起動レベル.....82
- 音声起動録音 (VCVA).....81
- 音声同期レベル.....84

- 音声同期録音.....83
- 音声録音用フォルダ.....31

か

- カードカバー.....18, 27
- 外部マイク.....42
- 外部メモリ.....120
- カレンダー検索.....34
- カレンダー / シーンボタン.....18, 34, 40

け

- 言語選択.....102

こ

- コネクティングコード.....43
- コントラスト.....99

さ

- 再生スピード.....50
- 再生設定.....87
- 再生モード.....93

し

- システム情報.....112
- シャドーイング.....89
- 充電.....23, 25
- 消去ボタン.....13, 18, 54, 55, 56
- 初期化.....109
- シリアル番号.....5, 112
- シンプルモード.....10, 107

す

- スキップ間隔.....96
- スタンド.....18, 35
- ストラップ取り付け部.....18
- スリープ.....30

せ

- 設定リセット.....108

そ

操作音 101

て

停止 (■) ボタン 11, 12, 18, 22

ディスプレイ 18, 19, 128

電源スイッチ 6, 18, 29, 30

電池カバー 4, 18

電池設定 7, 104

電池表示 25

テンプマーク 54

と

動作環境 113

時計設定 8, 105

な

内蔵ステレオマイク 11, 18, 35

内蔵スピーカ 12, 18

内蔵メモリ 31, 103

並び替え 68

の

ノーマライズ 72

ノーマルモード 10, 107

ノイズキャンセル 87

ひ

表示/音設定 99

ふ

ファイル 31, 33, 117

ファイル消去 13, 55

ファイル設定 67

ファイル表示 20

ファイル分割 70

ファイルリスト表示 20

ファイルロック 67

フォルダ 31, 33, 117

フォルダ/インデックスボタン

..... 18, 33, 54

フォルダ消去 56

フォルダリスト表示 20

プロパティ 74

ほ

[ホーム] 画面 19

ホールド 29

ボイスバランス 91

ポッドキャスト再生用フォルダ 32

[ポッドキャスト] モード 19

本体設定 103

ま

マイクジャック 18, 42

み

[ミュージック] モード 19

め

メニュー設定 58

メニューボタン 18, 58

メモリ情報 111

メモリ選択 103

も

モード選択 10, 107

れ

[レコーダー] モード 19

ろ

ローカットフィルタ 80

録音シーン 40

録音設定 76

録音 (●) ボタン 11, 18, 51

録音モード 78

録音レベル 76

MEMO

MEMO

MEMO

<保証規定>

- この保証書は、取扱説明書、品質表示ラベル等の注意書に従った正常なお取り扱いにより発生した故障に対して、お買い上げ日から満一年間、当社が無料修理の責任を負うことを保証するものです。
 - 本製品の製造打ち切り後、6年間は本製品のアフターサービスについて対応いたします。但し、当該アフターサービス対応については、故障の状況、本製品に対応する補修用性能部品の有無、及び保有している場合はその期間（製造打ち切り後6年間を目安に保有いたします）等に応じ、当社の判断で、本製品の修理又は同等品への交換（製品交換）のいずれかにて対応させていただきます。
 - 販売店、または当社サービスステーションにご持参いただくに際しての諸費用は、お客様にご負担願います。製品を送る場合は、必ず書留小包または宅配便をご利用ください。また販売店と当社間の運賃諸掛につきましては、輸送方法によって（問屋便以外を使用した場合）一部ご負担いただく場合があります。
 - ご転居、ご贈答品等でお買い上げ販売店に依頼できない場合は、最寄りの当社サービスステーションにお問い合わせください。
 - この保証書は、本書に明示した期間、条件の元において無料修理をお約束するものです。従って、この保証書は、オリンパス株式会社、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
 - 本製品の故障に起因する付随的損害（録音、再生に要した諸費用及び録音、再生により得べかりし利益の損失等）については保証致しかねます。
 - 保証期間内でも次のような場合には有料修理になります。
 - ご使用上の誤り及び当社サービスステーション及び指定する修理取扱い所以外で行われた修理・改造・分解・掃除等による故障。
 - お買い上げ後の輸送、落下等による故障及び損傷。
 - 火災・異常電圧・地震・水害・落雷・公害・その他、天災・地変による破損又は故障。
 - 本書のご提示がない場合。
 - 本書にお買い上げ年月日、シリアルNo.、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
 - 電池等の消耗品による故障。
- 保証の対象は本体のみです。

<保証書取扱い上の注意>

本書は日本国内においてのみ有効です。(THIS WARRANTY CARD IS VALID ONLY IN JAPAN)
販売店名およびお買い上げ年月日が記載されていることを確認してください。記入もれがあった場合は直ちにお買い上げの販売店にお申し出ください。

<保証責任者・保証履行者>

オリンパス株式会社
〒192-8507 東京都八王子市石川町 2951

保証書

本書は、本書記載内容で無料修理を行なうことをお約束するものです。お買い上げの日から1年以内に故障した場合は本書をご提示の上お買い上げの販売店または当社サービスステーションに修理をご依頼ください。

	無料修理保証期間	部 品 代	修 理 工 料
本 体	1 年	無 料	
品 名	ボイストレック	型 名	V-863 / V-862
シリアル番号		お買い上げ日	年 月 日
販 売 店 名			

OLYMPUS®

オリンパス 株式会社

〒192-8507 東京都八王子市石川町2951

● ホームページによる情報提供について

製品仕様・パソコンとの接続、OS対応の状況、Q&A等の各種情報を当社ホームページで提供しております。
また、オンライン修理受付の詳細やインターネットでのお申し込み、修理に関するお問い合わせ先（修理センター、国内サービスステーションなど）、カスタマーサポートセンターの営業日・営業時間につきましても当社ホームページで最新情報をお知らせしております。
オリンパスホームページ <http://www.olympus.co.jp/> から「お客様サポート」のページをご参照ください。

● 製品に関するお問い合わせ先（カスタマーサポートセンター）



0570-073-000

※ 携帯電話・PHSからもご利用になれます。

FAX 042-642-7486

調査等の都合上、回答までにお時間をいただく場合がありますので、ご了承ください。

便利でお得なサービスメニューをご用意しています。

● オンライン修理受付のご案内

オンライン修理受付では、インターネットを利用して修理のお申し込みや修理の状況をご確認いただけます。

※ 記載内容は変更されることがあります。